

妃蜜の穴園

ひみつのあなぞの



T Y P E . 9 0

ねーっ
お願い…

そこを
何とか…

だめです

いけま
せんっ

いつも お城の中
ばかりで…

一度 外の世界を
体験してみたいのです

わかりました
もう結構です

こちらにも
考えが
あります

キッ

お願い…
シレーヌウ…

な何です
考えって？

プリンセス・ワークス

だめだったら
だめですっ

教育係として
許す訳には
いきませんっ

父上と不倫
してる事 母上に
言いつけますよ

なっ

ビクッ



毎晩父上のご寝所から

今までに聞いた事のないシレーヌの甘い声が…

わーっ

分かりました

分かりましたから…



た但し…
今回だけですからね…

わーっ

ありがとうございます
シレーヌ

これが下界の町なのですね

色んな民がいっぱい

きよろきよろし過ぎですよ
姫様っ

わーっ



ねーっ
あれは
何ですの？

あれは？

くだもの屋

そこは？

肉屋です

じゃーっ
ここは？

ここは
ですね

あれは
金物屋
ですっ

これはっ？

八百屋です

あそこは？

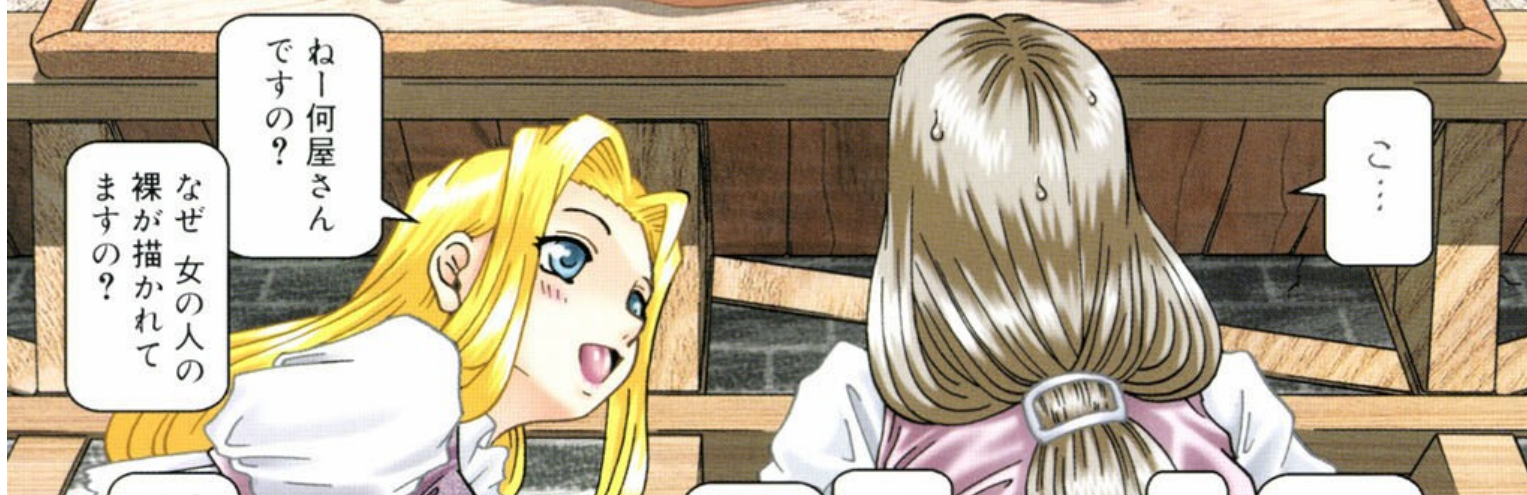
薬屋



こ...

ねー何屋さん
ですの？

なぜ女の人の
裸が描かれて
ますの？



ここは姫様
には不要な
所ですっ

えーっ

なぜで
すの？

うちの店に
何か用かい？

うちで働き
たいのかな？





ショー!?

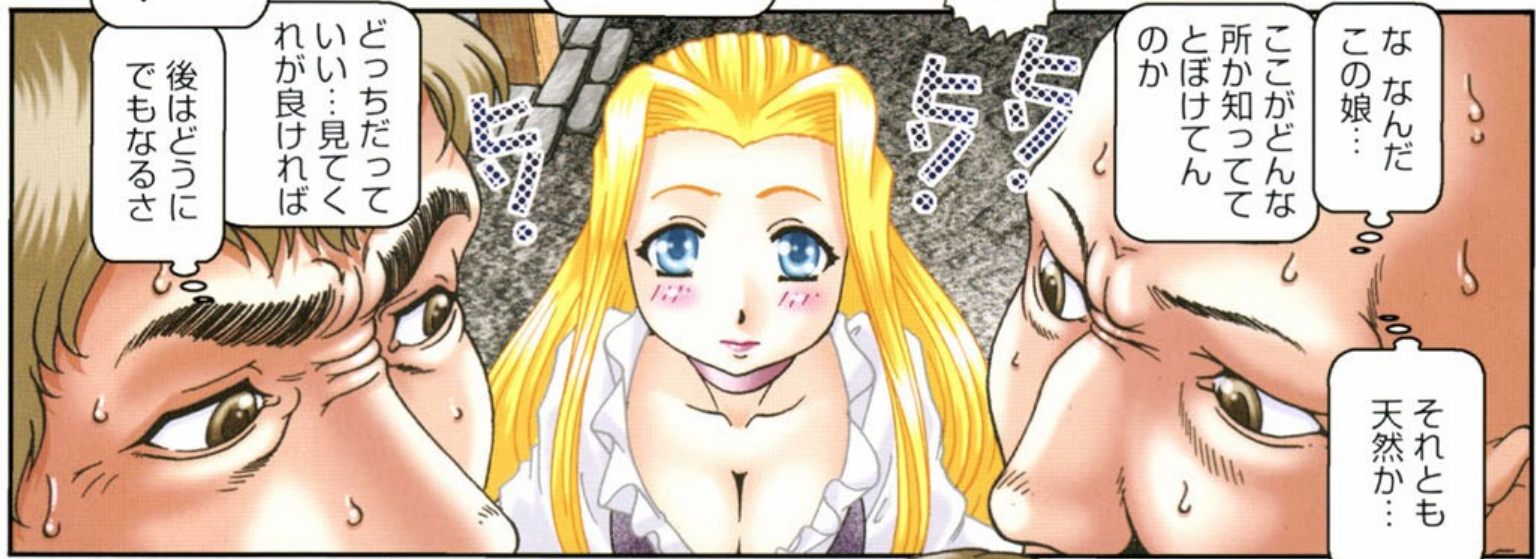
どんなお仕事
ですの?

いいえ…
私どもは

踊ったり
演技をしたり
する場ですの?

まあ—
簡単なショー
みたいなもの
だけだよ

ひ
姫様



なんだ
この娘…

ここがどんな
所か知ってて
とほけてん
のか

それとも
天然か…

どっちだって
いい…見てく
れが良ければ

後はどうに
でもなるさ



小さい方はともかく
もう一人の方は
客受け間違いなし
だぜ

ひ・姫様
いけません
・ここは

大丈夫
です。

そーだな
売女には無い
清潔感が客に
受けるだろうな

踊りや演劇
なら私にも
自信が有り
ますから

それに…
面白そうでは
有りませんか



それじゃー
早速打ち合わせ
でもしよっか

えー

ちちよと
待って…



ちようど踊り子を
捜してたんだ…
やってみるかい？

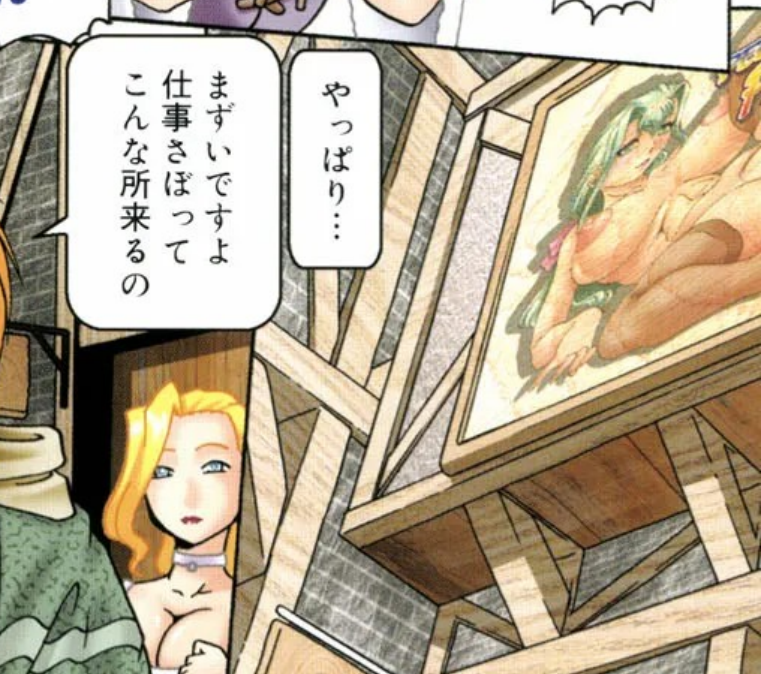
えーっ
喜んで

だめです
やりません



うるせー
なあー

まだ言っ
てんのかよ



やっぱり…

まずいですよ
仕事さぼって
こんな所来るの



でも城の人に
見つかったら…

大丈夫…
心配するなって

戦をやってる訳
じゃねえんだから
いてもいなくても
変わりやしねえよ



仕事って
言っても

ただ城門の前に
つつ立ってるだけ
じゃねーかよ

ギィイ!

大人
二人ね

まいど
7番と8番が
空いてるよ

気にせずに
十分に
楽しめよっ

今日はオレの
おごりだ

あ...ありがとう
ございます...

コトッ

も...っ
しょうが
ないか

せっかく
だから

おっ
すげえーっ

はぐう

んぐう

パタッ

どどんな
娘かなあーっ

オラっ
まだまだ
入れるぞ

ドキ!

ドキ!

ドキ!

ドキ!

グデッ

ギィイ!



ふがああっ

ドムン

グググ

ぎゅぎゅい

ヌピュ

ほーら
お嬢ちゃん
頑張ってるぞ
お前も負けるなよ

後二十個
入れるからな

漏れない様に
ケツに力
入れとけよっ



がははあ

うわーっ
木球が
あんなに沢山…

全部
入った

よーし

よく入る
よなーっ

ピクピク

ニムン



ぶぶっ

ふがっ

んぐっ

んん
っっ

ひ
姫様あ

へへへへ…

そんなに
心配する
なって

デ
ュ
グ
ッ

デ
ュ
グ
ッ

デ
ュ
グ
ッ

デ
ュ
グ
ッ

んぐっ

グ
リ
ン
グ

あんたにも
オレの太い
やつを…

おぼお…

ご馳走して
やるから

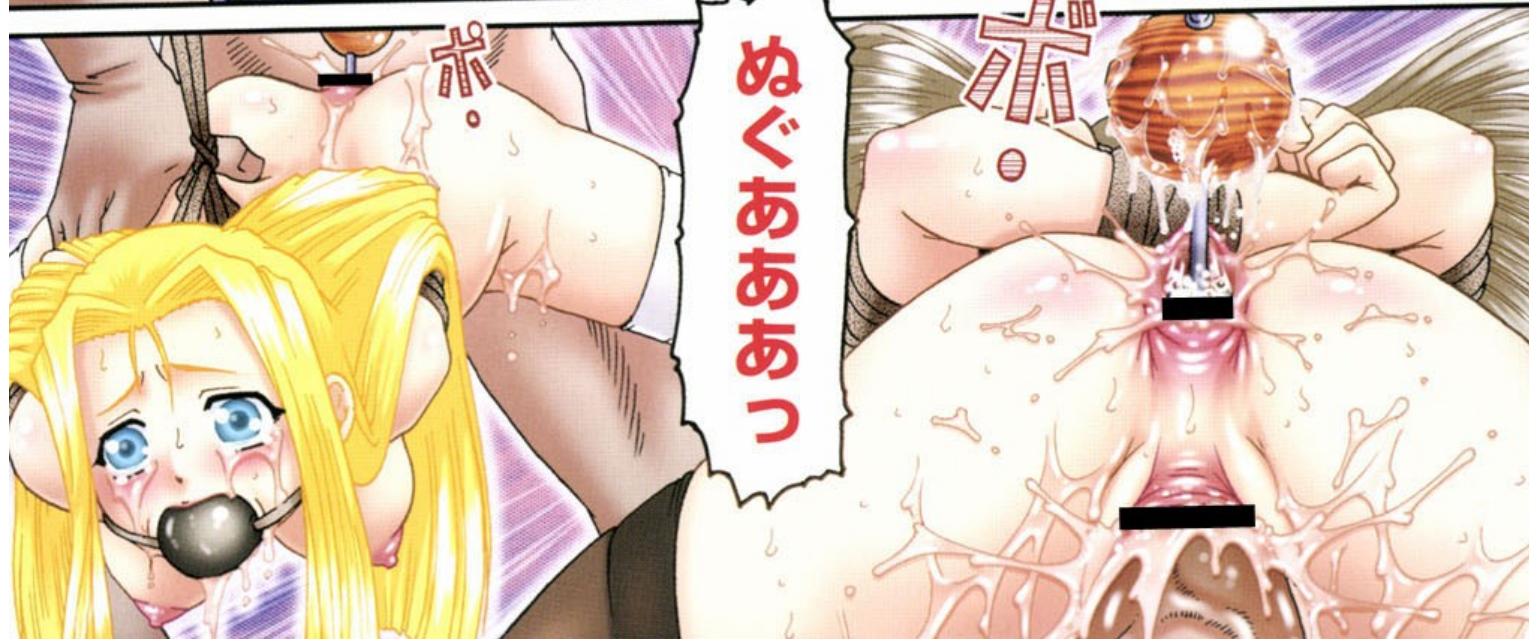
むぶうう…

チ
ュ
レ
レ

ー
エ
ン
グ

ー







ゴウゴウ

むぎいっ

ゴウゴウ

そうだな

ピクピク

スプス

ふー
なかなか良い穴
してたぜ

ピクピク

こんないい穴
オレ達だけで
楽しむのも
わりーな

ピク



今からクジで
出た番号の人に

こいつらを
楽しんで
頂こうと
思いまーす

そのラッキ
ーな人は

7番と

おっ
やっ
たっ

8番の
人でーす

え!?
うそっ
ホントっ



それでは
時間を
気にせず

思う存分
お楽しみ下さい

んん
—
っ

んん
—
っ

ガチ
イ
ッ

ガ
タ
ッ

ガ
タ
ッ



毎度
またどうぞ

ふ——っ
良かった
ですよ

それにしても
あの二人……

姫様と
シレーヌさん
に似てまし
たね

お前もそう
思うか？

本人だっ
たりして……

そーです
よねっ

そんな訳
ねーだろ

さーエイミー
おやすみの
時間よ

もーしょうが
ないわねー

うんっ

ねーママ……
いつものお話
をして……

お話して
あげるから
早く休むの
よ……

むかーしむかし
カノンと言う国
に……

その可憐な姿や
やさしい人柄は
国中だけでなく
大陸中に知れ渡り
「カノンの妖精」として
慕われていました……

それはそれは美しく
心の清らかな
お姫様がいました……

ところが

プリンセスダウンス

ある日
姫の噂を聞きつけた
悪い魔法使いによって
さらわれて
しまいました…

すぐに王様は
姫を助けるために
多くの兵を送りましたが
強力な魔法の前に
なすすべがありません…

そこで王様は
姫を助けた者を
夫にするという…

おふれを大陸中に
出したのです

腕に自信のある者達が
大陸中から集まり
魔法使いへ戦いを
挑みました

しかし

礼を言うぞ
勇者ラグリーンよ

ところが

よくぞ魔法使いを
倒し姫を救い出して
くれた…

誰一人として
姫を助けることは
出来ませんでした…



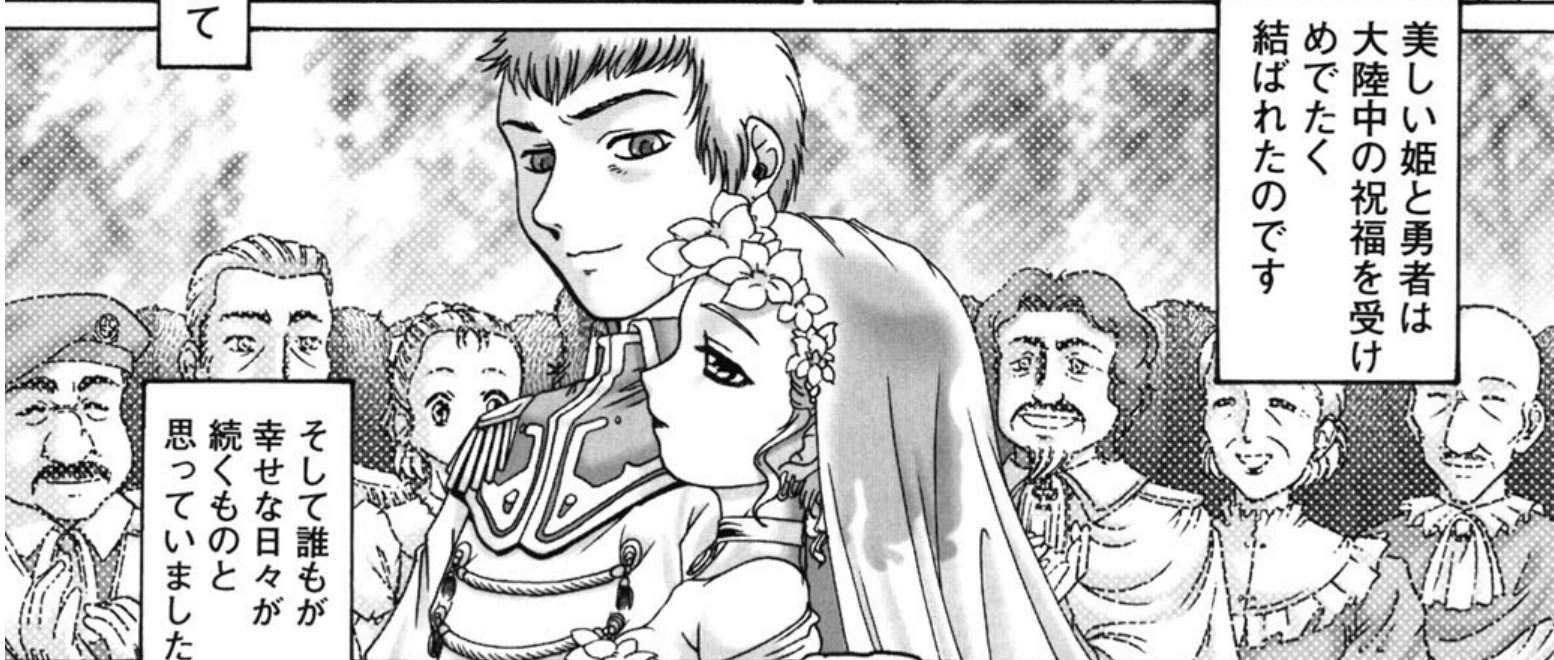


ははーっ
ありがたき
幸せ

こーして

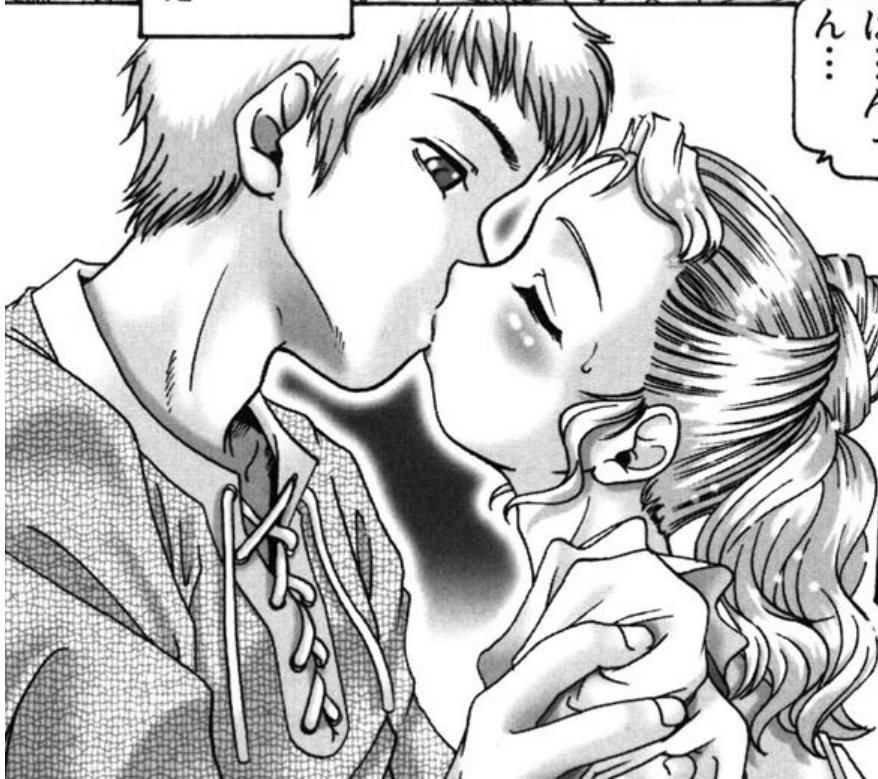


約束通り
そなたを姫の
夫とする



美しい姫と勇者は
大陸中の祝福を受け
めでたく
結ばれたのです

そして誰もが
幸せな日々が
続くものと
思っていました

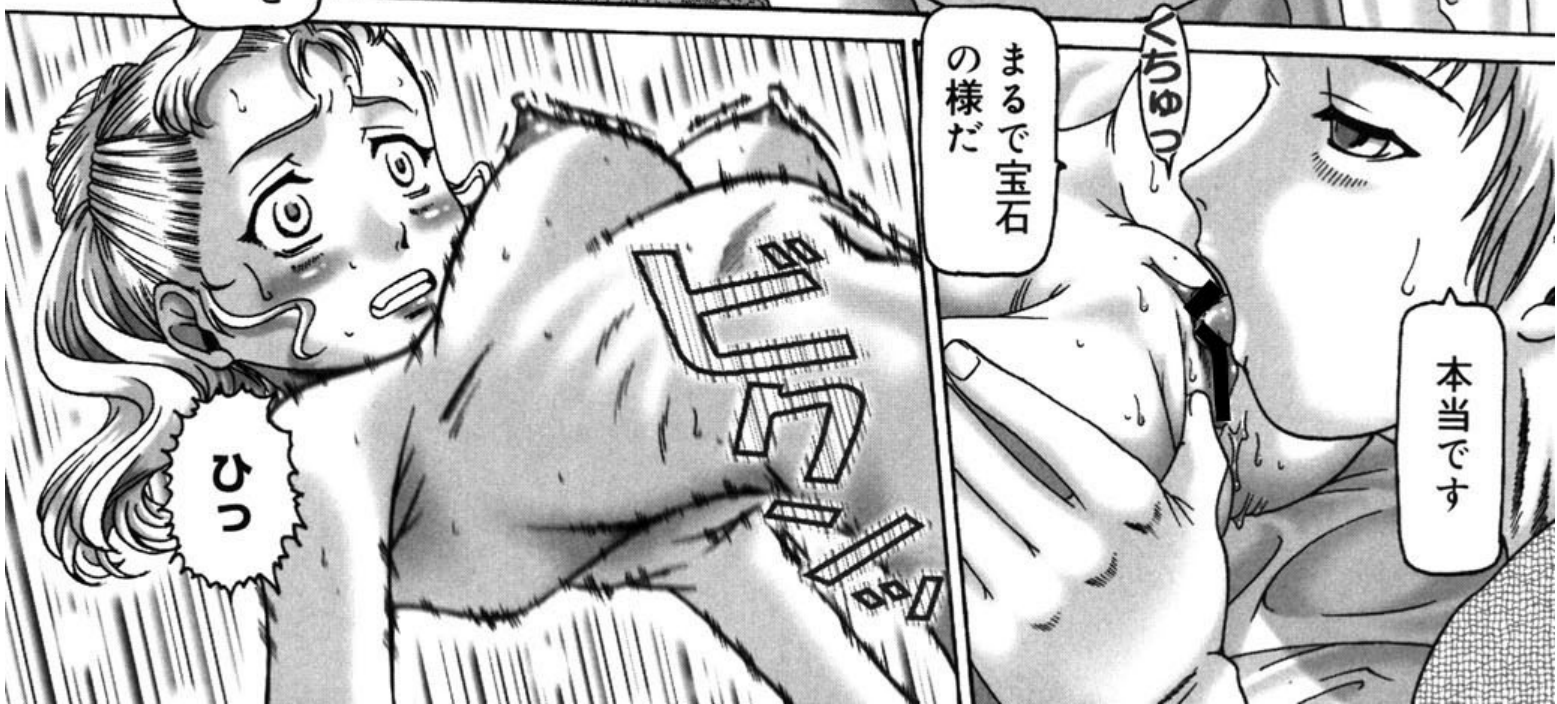


は…んっ



しかし





はぎいい？

ほほーっ 今ので
イッてしまわれたの
ですか？

はあ

はあ

はあ

ピタッ

くみい

ずいぶん敏感
なのですね…

これからもっと
良い体験を
させてあげま
しょう…

か体中に電気が
駆けめぐった様な…
こんな体験は
初めてです…

まっ！！



いっぴい



ピタッ

どわん。

私のこれ
を姫のこ
こへ入
れるの
です

あ私
それな
ら存じ
ていま
す…

なんでも
天にもの
ぼる気
持ちと
か

侍女から
聞きました
確か交尾と…

以前から
ためして
みたいと思
っていたの
です

その通り
です

さーどーぞ
ラグーン様

むきい〜っ

それでは
失礼して

いつ!?

いたいた…!
いたいた…!

ちちよつと
お待ちを…
ま…待って…

ジタ

バタ

ジタ

バタ

ニ
ヂ
ニ



あがが…



こんな…に
いたい…な
…んて

ぬ…抜いて
下さ…



ふん…

いぎゃっ



ギョッ

ギョッ

ギョッ



なんだ…先に
くっちゃまったの
か…？

そそなた達は
ラグーン様の…

光栄
ですな

我らを憶えて
おいででした
か…

何やってんだ
おせーよ

いつでも
出られるが…

その前に

ああ…

金目の物
運び出すのに
手間取ってなあー

だ…だれか
助けて…

おっと…

いやっ
はなして

だれかあー



ムダですよ
この部屋の周りには
結界を
張りましたから

どんなに騒ごうが
外には一切
漏れません



ああなたがた
こんな事して…
後でどーなるか…

！
あんな弱い魔法使い一人
倒せなかった兵隊で…
オレ達をどーにか出来るか？
思ってるのか？



な…



そんな事より

自分の心配でも
したらどーだ？

きやつ



ひょいっ

いいやつ
おろじつ

いいのか？
このまま離して

てえ！？

ちっしょうが
ねーなあーっ

え…っ？
ちちよつと
まつ…

ぱっ

しかしさすがは
大陸中に名だたる
カリナー姫

ぎはっ

ぐはっ

いい穴を
持って
らっしゃる

ひぐっ

ぎゅばっ

こりゃ一回や二回
犯ったくらいじゃ
物足りねーな

ぬぎっ

ひがっ

ぎゅぽお

ぎゅぽお

はぎや

ふひっ

ぽぐう

ぽぐう

ぽぐう

ぎゅぽお

むぎっ



わりー
つい夢中になっ
てな

ちちよつと
一人で
楽しんでないで
私も入れて
下さいよ

ぎゅっ

!?

? ああ



い...いやっ

おいしそーな
肛門だ...

むぎい



ほらよっ

あ...



ぬぎい...

あーっ
ぬっとりしてて
心地よいですなーっ

むぎい



ほー
これは
これは



あ...あなあ!?

こんなに
素晴らしい穴は
そういませんよ

これは
すごい...

二人とも
姫の穴は
素晴らしいと
申しております

オイッ
替われよっ

ささすがの
オレも...
もう...

えー
もうですか?
早いなあー

フギョッ

デュフッ

フギョッ

ぐはっ

うぎっ

ち？
しょうがねーな
もう少し
そっちによれよ

ちちよつと
まさか…

その

まさか…

くじゅつ

おごおおっ

ボグ
ウウ

うおーっ こりや
すげーきついな

そりや
そーですよ…
無茶しますねーっ

わ私も

ほげえ…

ボシッ
ボシッ
ボシッ

や…やべっ
もう出そう
だ…

ギ
ち
ち
ち



これ
どうします

持っていくか？
こんなおもちや
滅多にねー
からな…

よーしそろそろ
ずかるぞ

ぐわんぐわん

こうしてお姫様は
勇者様達と共に
旅に出ました

あら…
お話の途中で
眠っちゃった
のね…

おやすみ
なさい

ガキは
寝たのか？

え…
えーっ

お姫様は
その後どう
なったのですか
？

勇者様達と一緒に
旅に出たお姫様は

今度は
オレ達にも
お話して
くれよ

それで

すっ…



新しい幸せを
見つけ
みんなと
いつまでも

暮らしまし
た…とさ…

めでたし

めでたし

End

母娘遊戯



この無礼者ッ

どうして
くれるのよっ

ディアナ…
何事ですか

うわっ

おお許し
下さいまし

お母様っ
見て下さい

先日お父様に
いただいた
お洋服を…

この服は
大変高価な
物なのよっ

も申し訳
ございません

この使用人が
汚してしまっ
たのです

おやめ
なさいっ

たかが服くらいで
何ですか

大丈夫？

お母様っ

はいっ
奥様…

やりすぎ
ですよ

お母様が
使用人に
甘いから…

このような
失態を起こす
のです

もっと厳しくっ

使用人がいるから
私達は不自由なく
生活出来るのです

ディアナ

あなたは一人で
食事の支度から掃除
まで出来ますか？

う…っ

もう少し彼らを
いたわりなさい…

フンっ

ありがとうございます
ございます
奥様…

まあ——っ
血が出る
手当てを…

いいわ…

あなたは
自分の仕事に
戻りなさい…

それなら
私が…

はい…
はい…

よかった…

でも…し…
消毒はしな
い…と…

出血のわりには
そんなに深くは
ないわ…

お嬢様にも
困ったもの
ですね

あの性格は
旦那様ゆずり
ですね…

あっ

その他は
奥様に似て
らっしゃる

ふあ

ふひっ

ギッ
ジッ

もしか
したら…

あはっ

だが

はひっ

お嬢様も
チンポ好き
かも…

それより…

もっと奥まで
ほじくつてえ

お嬢の事は
どうでも
いいわ

もっと
深く…

タン
タン
バン
バン

そそっ…
いいっ

まったく

いつもは
清楚な淑女
なのに

はふっ

あひっ

はひ

一皮むけば

むひっ

グニッ

ぷいっ

いひっ

チンポ狂い
ときている

かひいっ

ひっ

グニッ

グニッ

グニッ

グニッ

まめめっ
まめつまん
じやいやあ…

じゃあ——っ
やめますか？

いやっ
やめないで

い…い…
いくのお

デュグッ
デュグッ

ぎしっ
ぎしっ

くう？

も…もう一度
チンポ
入れて…

いくつ
いくつ
いくつ

ねっ…ほら
ここに…ねえ

おねがい

やああ——っ
ぬいちゃ

まだ…
いつてないの

ぴ
ぴ
ゆ
っ

ど
ん



お話って
何ですか…

昼間のことなら
私は聞きません
から…

私は悪く
ありません
もの…

お母様

い…いえっ
そうでは
ないの

あなたも
そろそろ一人前の
大人の女性に
なるでしょう

これからは色々な
体験をしていきます
そして女性本来の
喜びも…

お…お母様…
何を？

その時…女性に
生まれてきて
良かったと…

心から…
思うでしょう…

今日はあなたにも
そんな喜びをわけて
あげましょう…

な何を
おっしゃり
たいの…

え？

おお母様

いいたい
そんなに引つ
ぱらないで

どこに
行くん
ですつ

お母様っ

や約束通り
連れてきたわ

はあ

はあ

はあ

遅かった
ですね

はあ

もう
来ないのかと
思いましたよ

これで
いいのよね

いいんで
しよっねっ

お:
お母様?



奥様も
好き者
ですな…

え—っ
もちろんっ

おいっ

仕事で留守がちな
旦那様が
知ったら

まさか毎日男の
チンポを食ってる
なんて思いも
よらないでしょ
うなあ……

お母様っどう
しちゃったの？



どう思う
でしょうか？

ご心配なくっ

と…
その前に

お嬢様の
相手は…
私が…

ぬ
う
っ



！



昼間のれだ
このクソガキッ

ん...

げふっ

あっ?

おめざめ
ですか...

にちやあ

いやあーっ

あめい

スキター

う...う...

体中の穴を
チンポ汁で
いっぱい
してえ…

驚きまし
たか？

あの様な
お母様を見るのは
初めてでしょう…

毎晩私達を
お求めになる
のですよ

旦那様が
仕事でいない日は…

見て
みなさい…
あれが
いつも上品な

お前らが
お母様をあんな
風にしたのよ

お母様はそんな
女性じゃないわ

うそっ

お母様の
本性ですよ

はぶっ

んぐっ

まじっ

いやいやっ
私達は
奥様の言うまま
ただけですよ

△キュッ

いいやつ
さわるな

お母様を見て
自分も
欲しくなられ
ましたか？

おやつ…

それなら…

な…何を…
ばかな

ややめ…
ちよつと…

やめて…
やめて…
や…ああ…

ああっ

ばばか
やめろっ

ぐちゃぐちゃ

むん

ひゅ

あふ

奥様に負けずと
劣らない穴を
持ってらっしゃる

さすがは
親娘だ

あぎいっ

いっわっ

ほ——っ
すばらしい…

いっわっ…

んげっ

チンポが
とろけそうだ

はひっ

ひっ

いっわっ

おじい

じゃあ—
私はこっち
の方を…

んああ…

がああつ

うげえ…

れろお

良い穴をもつて
らっしやる…

んがっ

さすがは
お嬢様だ

ぶぎっ

グデュッ

グデュッ

グデュッ

グデュッ

グデュッ

グデュッ

グデュッ

グデュッ

グデュッ

グデュッ

グデュッ

グデュッ

グデュッ

グデュッ

グデュッ



そろそろ気持ちよくなってきたでしょっ

ほーら…
こんなに乳首をかたくして…

かわいい
ですなあ！

んぎゃーっ

やめてーっ
ちぎれるう…



ギューッ

ギューッ

ギューッ

ギューッ

も…もう
出そうだ…

このまま
出しますよ

はぎいいい…

ギューッ

いやあーっ
なかなか良い
穴でした

はあ

ひ
屋間の事は
あやまるわ…

はあ

だから…も…
もうやめて…

何言っ
て
んです…

はあ

これから
ですよ

いやあ

ちゅぽぽ

ちゅぽぽ

ひん

もう…朝か…

ふーっ
出した出した

もう何も
出ねーよ

でもどうする？
旦那様が帰ってきたら
やべーんじやねーか？

なーに時間は
たっぷりある

母親同様



チンポなしじゃ
いられないように
してやるよ

End

むかしし
むかし…

小さくても
人々が楽しく
暮らす国が
ありました

姫のモキ

そこには王様と
女王様…そして
かわいいお姫様が

幸せに暮らして
いました…が

それは……

王様と女王様には
一つの悩み事が
ありました





ほーら
しっかり立って
ないと…

んひっ

はひっ

ぷるっ

ぷるっ

ぷるっ

くはっ



かわいい
チクビが…

ちぎれちゃう
ぞお——っ

なーにが
外してだ

い…いやっ
いたい…っ
はずしてえ

これから
どうして
ほしいんだ

かっく
かっく

おま
おまんこ…

言って
みろよ

こんなに濡らし
やがってよ

にちゅっ

ピクッ

わたくしの…
いやらしい
おまんこに…

とき

よーし
よく言えた…

みぎいい…

ご主人様の
チンポを…
ぶち込んで
下さい…まし

ほーら
ご褒美だ

ああ…

あありが
と…たれい…
まひゅ…

す…すつ…
いいです…

どうだ
うれしいか

前と後ろに…
一緒に入って
るんだぞ

ぶちゅっ

ぶちゅっ

ぶちゅっ

ぶちゅっ



あなた達っ
何やってるの

いいや…
これは

ひ
姫様が

母上には
関係ありま
せんっ

邪魔を
しないで
頂きたいわ

じ…じよ
女王様っ

ムッ

ぷいっ

何言ってるのっ

こっちに
来なさい

まだやる
うっ

いやあーっ
まだ出して
もらって
なあーい

もっ

いい加減に
しなさいっ

ぽっん

うるさい

くっ

仮にもあなたは
一国の姫君なの
ですよ

国民に対して
良い模範に
ならなければ
いけないものを

……つて
何やつて
んのっ

おおーっ
いいぞお

ととっても
トレビアー
ンじゃ

そく
そく

ちゅぶっ

出す時は
遠慮しなくても
いいからね

やめな
さいっ

ミヤッ!?

ちゅぶっ

私……パパの
全部飲んで
あげるからっ

実の娘に
何やらせる
のよっ

い……いやっ
……っ……



もう…
知りません

勝手に
しなさい

ばっ
!

母上いなく
なったから…
続き…

さっ
パパ…

とは…

言っても…

お…
おう…



このままに
しておく訳にも
いかないし…

どうしたら
いいかしら

ん
—っ

おっ!!

そうだっ

ぽん!



なるほど……

酒

そのお姫様を
オレ達の
やり方で……

わかった……

こらしめれば
いいんだな……

え——っ
しかし……

ケガをさせない
事が条件です

でもどうやって
城の中に入る？

警備は半端じゃ
ねーだろ？

いいだろ……

ご心配なく……

私どもが
手引き致し
ますので

ご安心を

それで……
いつから始め
るんだ……

今夜……

今すぐに
でも……

ハ——っ

セバスチャン

どこのの？

もーっ

どこに行ったのよ…
昼間の続きやろうと
思ったのに

お呼び
ですか…？
姫様

なーんだ
いるじゃ
ない…

だ誰よ…
あなた達…

どこにい…

！

お初にお目に
かかります

私…
フォレストと
申します

そして…
こいつらは
我が弟

あーっ
どうも…

カストルと
ポルクスと
言います

血はつながっ
てるの…？

はい

似てない
わね

よく
言われます

ふーん…

そんな事より
ハーリーと
セバスチャンは
どうしたの？

二人には少し休ん
で
もらってます…

今宵は我らが
お相手して
差し上げましょう

姫様

いや

っ

よしっ
よし…

多少手荒な
事です…

いや
はなして—っ

うるせ
おとなしく
しろっ

このアマア

ほ 本当に
大丈夫かしら

ケガさせなきや
いいんですけど

これでいくらかは
おとなしく
なるかも…

ぱかっ



ったく…
てこずらせ
やがって…

お姫様ってのは
もっとおしとやかな
ものだろ…



い…いやあ

ほどいて
おろしてえ

あ…あにき…
オオレから
やっちゃっても
い…いいかな?

ああ?

お前らの物
いきなり入れたら
後使い物に
ならないだろ…

バカヤロー

う…うん…

へへへッ
いい格好
ですよ…
姫様…

まずは
オレから…

ちゅ
ちゅ

よう

ちゅ
ちゅ
ちゅ

いいやつ
やだっ

こりゃいい
具合だ

ほにやあゝ

町の売女
とは一味
ちがうぜ

ズゴォ

ズゴォ

ズゴォ

うっ

うっ
うっ

じきに…
気持ちよく
なるって…

そんなに
イヤがるなよ

お願い……

そんなに
深く…入れ
ないでえ

もっと
深く入れ
てよ…

ズフッ
ズフッ
ズフッ

おーっ
きたきたっ

ふーっ
良かったぜ
姫様っ

い…いこそ

ありがたく
受け取れよう

ちゅぽんちゅぽん

ぞくぞく

はーっ
子宮に
しみるう…

んはあ……

ひゅんちゅぽんちゅぽん

後はお前らの
好きにして
いいぞ

オオレの方が
お兄ちゃん
だから…オオレ
から先だぞ

ポルックス

いつ!?

う…うん
いいよ…
カストル…

ビクッ

ズクッ

ちちゅと
まって…

そんなの
入らない…

まっ 待って
待ってったら

ぎゅぎゅぎゅい！

あんぎやあぁ…

おがぁぁ…

入れるなら
もう少し…
ほぐしてか…

ぴゅ
ぴゅ

ミチイ。

ほぎゅぎゅぎゅ

うわぁーっ
この穴 気持ち
いいーっ

もう一つの
穴ならいいよ

そんなにいい
ならボクも
入れさせてよ…
カストル…

え？

だだめえ
そんなの
二本も：
入らないよ

いやあつ
だめだめ
だめえ——っ

こ…
こわれっ

うげええ

アッ
アッ
アッ



あががあ……

ま…またが
さけるう

うるせーなっ
こいつでも
くわえてろっ

おぶお

あ あんな
太い男根が
三本も…

す…
すごい…

んぶっ

ぶっっ

ぐっぐ

ぐっぐ

んぶっ

ドキ。
ドキ。

でも……

あの余裕の
ある顔は……

あの娘ったら……
あんな事され
ても……

ぐぶっ
ぐぶっ
ぐぶっ

よ悦んでる……
みたい……

ほちゅっ
ほちゅっ

ほちゅっ
ほちゅっ

あんな馬みたいなの
男根を入れられ
ても……

あ……あんなに黒く
太い物で激しく……
されても……

あんなに……
多くの精子を
ぶちまけられ
ても……

あんなに……
あんなに……

ぷいっ
ぷいっ
ぷいっ

ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ

うらやましい
っ

ああ——

ドキッ
ドキッ
ドキッ

ドキッ
ドキッ
ドキッ

ドキッ
ドキッ
ドキッ

ドキッ
ドキッ
ドキッ

ああんたは

酒場の……

母上っ

母上って……
まさか……

じよ……
女王……
さま？

私は……
心底あきれ
ました

そっ♡

……でも……

自分の立場も
考えずに……
男性をみると

殿方と……
淫らな事を
したいのです

さかりのついた
ネコみたい……

それを私が
どんな気分で
見てきたと……
思っているの？

私だって……
私だって……

えーっ
もう
おしまい？

はら。

外せ
外せ……

なんだか……
やばいぞ

よよよ

立場上…
仕方なく
ガマンを…

な!?

それほど
ご辛抱
なされて
いたなんて

母上っ

でも…
ご安心を…

えい
いいい

もう…さみしい
思いはさせ
ませんから

え!?
ち
ち
ちよつと…

えい
えい



じゅん……

女王様の
悩み事は
無事に解決
されました



が……

王様なのに……
わしだけの
けもの……

悲しい……

End

なあー
例のヘンタイ
また出たらしいぞ

見た奴の
話じゃー
若い女の
露出狂
だってよっ

えーっオレが
聞いたのは
ババアだってよ

おーっ
聞いた聞いた

どっちにしても
そんな奴は
すげーブス
だろうよ

美人のヘンタイ
だったらいん
だけどな

そそーっ
たとえば
柳沢センセー
みたいな…

わあっ

や
柳沢…センセ

またあーっ
バカな話
してえーっ

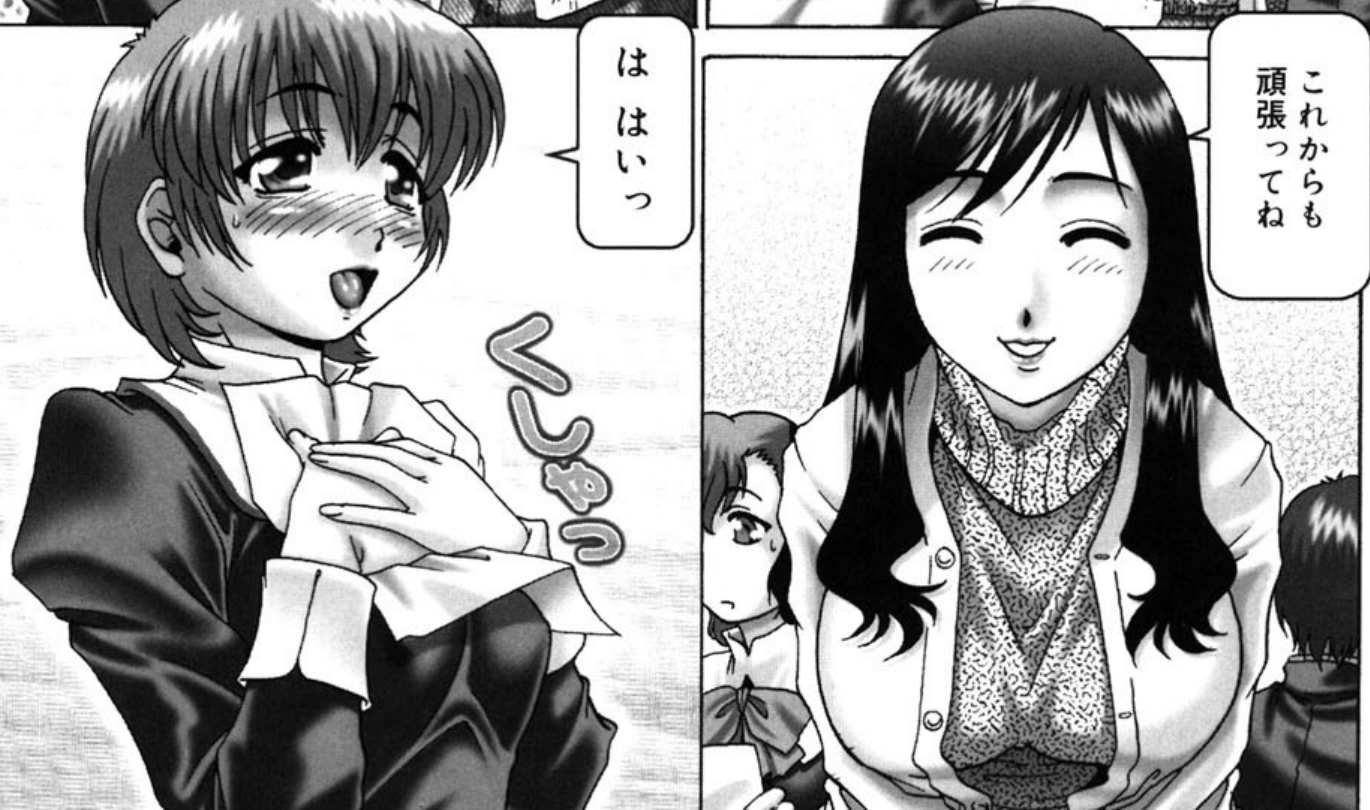
もおーっ

私が…
何ですって

柳沢なら
ヘンタイでも
いいなーって…

…え？

リフレガンゴのススメ



小さい頃から
学校の先生に
なるのが
夢だった私は

木梨さんっ

はいっ

久保君

ほーい

地元でも有名な
進学校の先生に
なる事が出来た

しかし好きでなった
仕事だったけど……
やってみると

近藤君

もう少し
授業を
しっかり
聞きなさい

はいっ

笹本君

君もよ

へへへ……

次……頑張
ります

いろんな気苦労が
多いため
ストレスが
たまりやすかった

最初は自分の
好きな事で
「リフレッシュ」
していたが……

えーっ

赤点の人は
来週追試を
行いませう

えーっでは
ありませんっ
ちゃんと勉強
しとくよーに

回を重ねる度に
その方法も
変わっていく……

今の私の
リフレッシュ法は

それでは授業に
うつります

現代国語

煙

柳沢センセって
いいよなーっ

性格いいし
童顔で
かわいいし…

男子トイレ

おまけに
結構いい体
してるしな

じゅわんじゅわん

じゅわんじゅわん

あゝあつ
一度でいいから
犯ってみてーっ

はは…
ムリだって

学校の
男子トイレで
オナる事です…

びく

びく

ピクッ

じゅわんじゅわん

そそんな
事ない…
もん…

紙以外

むに

むに

だよな

オレらみたいにな
ガキは相手に
されないって…

くにくに

最初は恐くて
ドキドキしてた
けど……

あーっ
そのチンポ
見てみたい……

でもオレの
チンポは立派な
大人なんだぜ

はいはい
そーですか

今ではその
ドキドキ感が
心地よくて……

はーっこいつを
柳沢の体内の穴に
ぶちこみて……

あーっ
それなら
オレも……

むん~~~~っ

ぴんぽん

びゅぴゅ

短い時間で
何回もいって
しまいます

あっ
また……
いく……いく……
いく……

更に生徒達の
卑猥な会話や

いいわ……
遠慮なく
ぶち込んでえ

排泄の音が
更に拍車を
かけて……

これが私の
リフレッシュ
法でした……
今までは……

ぶちゅっ

ぶちゅっ

ぢゅぐっ

びゅん

びゅん



なぜ
気付いた
の…?

ニオイ
ですよ

ニ…
ニオイ?

自分では
気付いてないかも
しれません

先生って甘くて
いいニオイがする
んですよ…

先生いく時
声出してた
から…

あ…

まる聞こえ
でしたよ

それに…

たまってるなら
オレ達に言っ
てくればいいのに

いい所に
連れてって
あげますよ

い…いい
所って…

すごいい
所ですよ

ここは…

放送室

ここなら
大声を出しても
大丈夫ですよ

カデヤツ

先生っていく時
ずいぶん大きな声
出しますからね…

ちわ—っす

わりーっ

おせ—よっ
何時間
待たせんだ

何時間
なんて…
オーバーな

ご希望の物
持ってきた
から怒るなよ

!

せ…先生
………

か華河…
……さん!?

ツキ

ぎん

だだめっ
見ないで
下さいっ

ああなた
達……

華河さんを
ムリヤリっ

ち違い
ますよっ
先生

彼女の方
から言い
出したん
ですよ

そうだよ
ね……
華河さんっ

優等生の
華河さんが
自分から
言い出した時は

少し驚いた
けど……

んああっ

ビクッ

ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ

ひぎっ

ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ

ポテッ

ぶぎゅっ

むぐっ……

良い子をやるのも
相当ストレス
たまるんだろうな

そんな先生も
ストレス
たまってんでしょ？

特に…
ここに…

そそんな
事は…

きゃあっ

ひ
よ
い

ち…
ちよつと…

さっきまで
いじりまわ
してたから

ひっ
いやっ

だだめっ
見ないで

ひやっ

まだ
赤くなっ
てる…

ここに
ストレスが
いっぱい
つまってる

うわーっ
本当だ

ぎゅむう〜っ

ちヨロッ

ビクッ



ややめ...やあー
そそんな所
舐めちゃ...



ひ...っ
ひはあーっ

おお尻だけは
いやーっ



だだめっ
だったら...



ふみいっ



大丈夫っ
すぐに気持ち
良くなりますよ

最初はイヤがっ
てましたけど

今では
やみつき...

ほぢゅっ
ほぢゅっ
ほぢゅっ

+++++

華河さんも

お尻いい
よあ~~~~
ももつと
ほじつてゐー

おまんこに...
おチンチンを
ちようだい...

もつとよっ
もつとしてゐ

いいやんっ

デコボコッ

ドキ。
ドキ。

いいよっ
これから
どうして
ほしい？

くっくく。

お...お

はいはいっ
いつもの
やつね

ニチャッ

おっ今日は
いつもより
…中が
あついな…

ズ
グ
グ

ひきい~~~~

おおチンチンが
入ってるう…
入ってるよあゝ

こうだろ？

チンポが
溶けちゃい
そーだ

言われなく
ても分かっ
てるよ

ほちゅっ

ほちゅっ

ほちゅっ

ほちゅっ

ほちゅっ

みきや~~~~

もっと
激しく

もっと

ぶちゅ

ぶちゅ

グ
グ
グ

自分だけ
いい思いして
ないでさあ

あ…

おおーっ
口の中
唾液だらけで…

んぐっ

サイコーッ

オレも
気持ち良く
してくれよ

本当に
華河さんって

おぶおっ

おぶおっ

チンポ好き
だよな

デュグッ
デュボッ

デュグッ

デュボッ

デュボッ

既に…
中毒だよ…

卒業する頃は
チンポ中毒に
なったり
して…

ちゅぽ。

ちゅぽ。

ちゅぴ。

ちゅぽ。

ちゅぴ。

ちゅぴ。

ちゅぐっ

おぶおっ



そろそろ
チンポ欲しく
なってきた
でしょ…

物欲しそーに
よだれを
流してる
もんな…

それでは
お待ちかね
の…

んん
—
—
っっ

グハハハ



ちんぽ
そーにゅーっ

ド
ュ
フ
フ
ッ

ふ
ぶ
—
っ

うお—っ
スゲエ感触ッ

ぼ
ち
ゅ
っ

ぶ
ち
ゅ
っ

ぼ
ち
ゅ
っ

ぶ
ち
ゅ
っ

ぼ
ち
ゅ
っ

ぶ
ち
ゅ
っ

ぼ
ち
ゅ
っ

先生の穴：
別の生き物
みたいだよっ

さすがは
大人の女って
やつだよな…

お
ビ
じ
お
お
っ

ポ
コ
ッ

モ
コ
ッ

グ
グ
ッ

おチチも
プニプニで
気色ええーッ

み
ゃ
っ



でも...

あがつ

ああ...!?

ぼくが
好きな所は...

い...いやっ
だだめ...

こっちっ

よっと

だだめよっ
お尻の方は
まだまだな...

のおおーっ

おーっ
すげえーっ

ボキッ
ボキッ
ボキッ

んぎっ

ひぎっ

ぐはっ

ねー先生っ

このまま
中に出して
いいでしょ

あっ

あっ

おれも
出しちゃ
おーっ

まるでマンコに
入れている
みたい

なら…
こっちも…
出すぞ

た出してえ

ボキッ
ボキッ
ボキッ

ボキッ
ボキッ
ボキッ

ボキッ
ボキッ
ボキッ

ボキッ
ボキッ
ボキッ

私の穴を
せーして
いっぱい
してーっ

いいか?



はへえ

ボグウツ

ボグウツ

たつぷり
味わって
下さいっ

ボグウツ

ボグウツ

そーらっ
出すぞお

グチュッ

グチュッ

グチュッ

あっ

あ...あ



むほおおっ

ビュウウウ

かはああっ



こうして…
また新しい…

よし
今度は
先生で出し
てみよう

それじゃあ
交替しようぜ

ストレス解消
を見つけました

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ



おはようっ

ちよつと…
不安も
ありますけど…

おはよう
ございます
先生

あ…
おはよう

おーすっ

おはよう



今日もみんな
で集まるん
ですけど

今度は長く
続けられそうです…
だって…

も…もち
ろん…

先生は…
どうします？

一人じゃ
ないから…

行くわ…

End

あ…あのーっ

私は旅の
商人で

私…何か
悪い事でも
したので
しょうか？

この国には
商いで…

心配いらんっ

咎人として
連れてきたの
ではないっ

身代わり姫

ははあ
でも…

その方に
頼み事が
あってな

た頼み事
…って

それはな

見つけた
そうだな
ジイ…

ビクッ

これは
殿下っ

これなら
身代わりには
十分だな…

ほーっ
これは…

でかしたぞ
ジイ

ちちよつと
待って
くださいっ

身代わりって
…何ですか？

は…
はあ？

まじ。
まじ。

くねえ。

その方はこれより
モンテール殿下に
代わって隣国の
姫と婚礼を
行うのだ

そういう
事だ…
よろしく
頼む

婚礼って？

どういう事
ですか？

近々我が国と隣国とで
同盟を結ぶ事にな
ったんだ

それにとまって
双方の王子と姫君との
婚礼を行う事にな
ったのだが

私はもう少し
独身を楽しみ
たいのだ

はあ…



まだまだ華やかな生活を満喫したいのに妻子持ちになって窮屈な人生を送るのはいやだ

その姫君に嫌われれば結婚をせずにすむと

しかし私が直に嫌われるのはいやだからその方に頼むのだ

うまくやってくれよ

そこで考えた

いーいやですよっバレたらお手打ちになるじゃないですか



よいではないか

王家のために命を落とす事は国民の義務であらう…

私はこの国の人間ではありません



とにかくもう決まった事だ

頼んだぞ

あつちよつとそんな無茶な

心配するな

ほんの少しの辛抱だ

殿下のわがままには皆困っているのだ

え？

ははあ…そうなんですか

婚礼を逃げたのも
今回が初めてでは
ないのだ

いろいろと
大変なんですわね

それで…

私はこれから
何をすれば？

その方には
姫君との
契約の儀の為
一晩
過ごしてもらう

びゅ。

ち
契約って…
で出来ま
せんよっ

真似事で
いいのだが
やれるので
あれば
やってもいいぞ



私が王子様じゃ
ない事がバレる
じゃないですか
？

噂ではこの姫君…
若い男の肝を時より
喰う事があると聞く

まあーっ婚礼相手を
喰う事はないと思う
が…取りあえず気を
付けておけ

想像図

その前に
我らが何とかする
心配はいらん…が

気を付けとけば
何とか
なるんですか？

グルルルル。



とにかく
気を楽にして
やってくれ

あせったり
すると早めに
バレるからな

気を楽に…
って言っても

姫君は？

はっ…
先ほどより
寝所にて
お待ちかね
です

それでは
後の事は
頼んだぞ

おろろ。

ししかたが
ない…か

キイイ。。

し失礼
しまーす…

ぎぎぎ

お待ちして
おりました

おお
つ…と

ドギイイッ

わたし
私…フォンテーヌ
と…申します

は…初めまして
殿下…

か…かわいいっ

とても肝を喰う
ようには見えない
けど…

…にしても

顔にはあわない
立派な…

ああのーっ
私の顔に
何か…?

えっ…
いいいいっ
別に何も

ムチ。

そそうだ
な長旅で
疲れたでしょう

今日は早めに
お休みになられては
…ねっ

あ…は
はいっ

私はこちらの
ソファの方で

んなあっ!!

びくっ
ううう?

ど
ど
う
ぞ
…
殿
下
…

お
お
好
き
な
方
で
…

い
い
や
あ
ー
っ
今
日
は
…
や
め
と
き
ま
し
ょう

後
日
日
を
あ
ら
た
め
ま
し
て
…

あ
せ
あ
せ
あ
せ

ぱ
っ
つ
い

で
す
が
…
こ
れ
は
し
き
た
り
で
す
の
で

私
ど
も
の
国
で
は
殿
方
と
床
を
と
も
に
す
る
時
は
契
ら
ね
ば
な
ら
な
い
と
い
う
し
き
た
り
が
ご
ざ
い
ま
す

そ
の
た
め
私
も
幼
い
頃
よ
り
色
々
な
修
練
を
し
て
ま
い
り
ま
し
た
…

そ
れ
に
…
こ
の
ま
ま
の
格
好
は
恥
ず
か
し
い
…
で
す

あ
…
あ
…
っ

し
き
た
り
…
っ
て

で
す
か
ら
…
お
早
め
に
…
お
あ
が
り
く
だ
さ
い
…

恥

そ…
それじゃあ…

ああつ

ビクッ
ビクッ

はふっ
はふっ

あひつ
キョグッ

キョグッ

フル
フル
んひゃっ

ああ…っ

ピチヤッ

クチャッ

ピチヤッ

クチャッ

ピチヤッ

ガクッ

ガクッ

で殿下あつ

そそんなに
おお舐めに
なられ…ては

わ…
私…

ししかた…
ないよな…

チュフッ

あつ

チュフッ

んああつ

ああーっ

ぴくっ

ぴくっ

んひいつ

余計に
変に思われ
そうだし

チュフッ

チュフッ

だ…
ためっ

チュフッ

あああ
されたら
何もしい
と…

ぴくっ





ひゃあっ

で殿下…
何を…?

雌…

え?

雌のお…
匂いだあ…

で…
殿下…!?

ほーらっ
おたべえ…

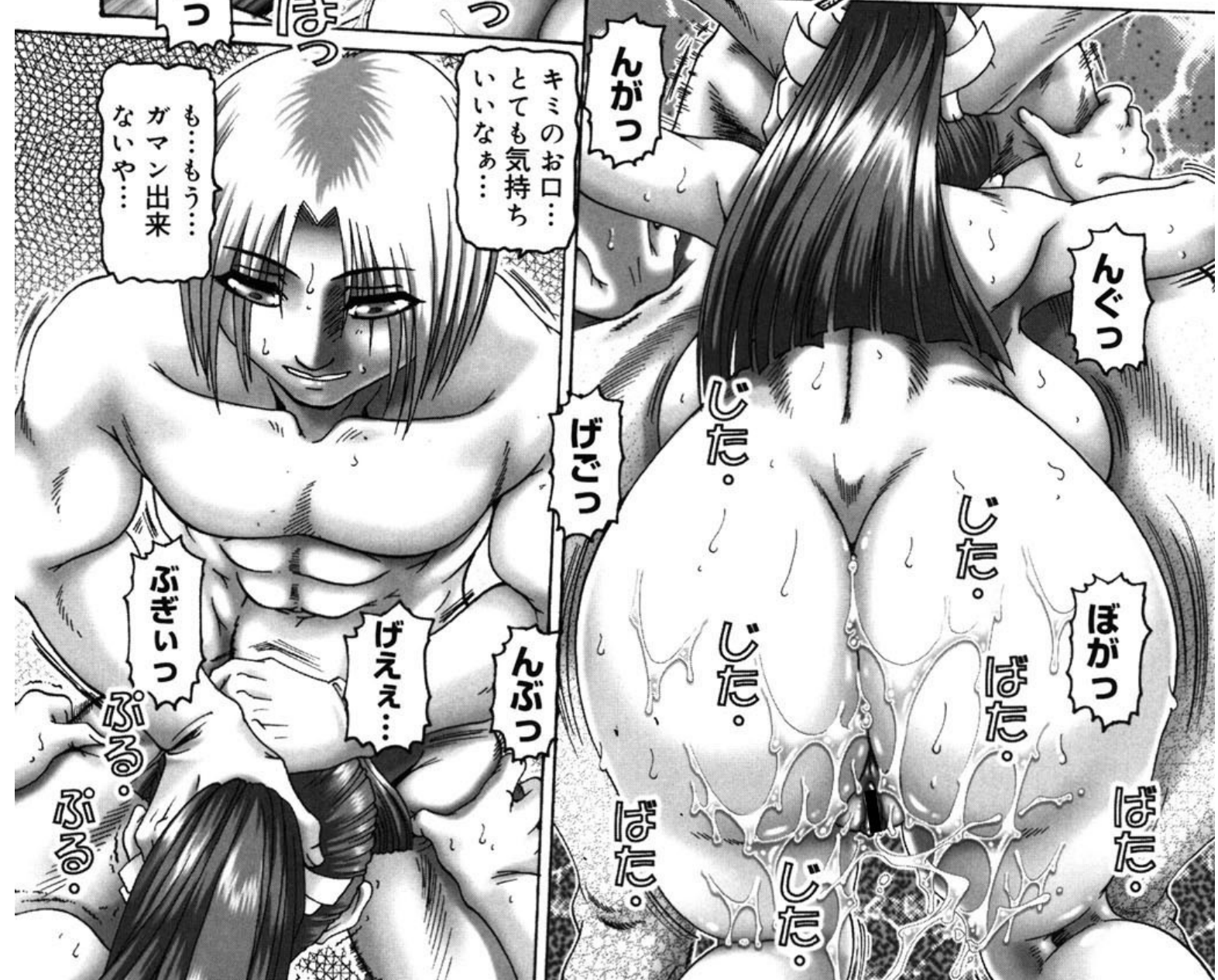
ひっ

雌はあ…
これが好き
なんだあ…

そそれは
大きすぎま…
うぶっ

お
お待ちを…

ス





んー？
小さくて
入りにくいなあ

ぐちゅぐちゅ

い…いたっ
で殿下…
イタイですっ

ちちよと
ムリですって

いいやあつ
待つて…

よし
一気に…

まっ…

ふぎいっ…っ

ズブズブ

ギョ







これから
楽しく
なるんだ
から

ぎゅっ

ぐわーっ
ぐわーっ
ぐわーっ

ガシッ

ビクッ

あ!?

さーて
お待ちかね…

雌の大好きな
精子を出しちゃい
まあ~~~~す

いーやあーっ
だだめえ

チュッ
チュッ
チュッ

チュッ
チュッ
チュッ

チュッ
チュッ
チュッ

チュッ
チュッ
チュッ

中に出しちゃ
いやあーっ

に妊娠
しちゃう…

子宮でたっぷり
味わってください
ねえ~~~~っ

たぶん

たぶん

妊娠しちゃう
からあ~~~~っ

ギョッ
ギョッ
ギョッ

ギョッ
ギョッ
ギョッ

ギョッ
ギョッ
ギョッ

ギョッ
ギョッ
ギョッ



ぐゅん！

もおゝゝゝ
わがままだ
なあゝゝ

だめっ

ガッ

ギュー

にゅ。

じゃあーっ
こっちなら
いいだろ？

そっちは
もつと
だめえっ

まだ
使った事ないの
だから…



だめえーっ

ギュー
ギュー
ウッ

うはあゝゝ
こっちの方も
サイコーっ

みぎやあゝゝ

お…

おぼあ…

ぐゅん

ぐゅん

ぐゅん

ぐゅん



じ実は…

どうだ
いいのか

ああーっ
いいーっ

私が
王になったら
お前を
愛人にして
やろうっ

ズグッ

ズグッ

いい
です
殿下ーっ

う
うれしい…

たわけえーっ

まったく…

ち父上ッ

国民の安泰の
ためでもあると
いうのに…
それをお前は

自分の
わがままの為
に身代わりまで
たてるとはな

も申し訳
ごさい
ません
父上

身代わりを
立てていたと
いうからな

相手の姫君も
同じ理由で

まあーよい
今回は大目に
みよう

お前の王族と
しての自覚の
なさには
呆れるわいつ

我々の婚礼の
意味を何も
わかっておらん

も申し訳
ごさいま
せん

私…容姿に
自信がないため
に…つい…

ぷるん

な何を
申されます…
私は容姿など
気にしません

さーそんな
ベールは脱いで
ありのままの
あなた…

を!?

ピクッ

はい…

スルッ

なんじゃ
こらーっ

でも…私に
ついて
きちゃって
いいんですか?

だって…言いつけ
守れなかったから
帰るに帰れないし

帰ってもまた
変な事押しつけ
られそうだし

はあ…っ
えらい目に
あいましたね

でも
本当は

うふっ

ひ・み・つ

本当は…?

ぎゅっ

な何ですか
それ…

End

ようこそ
神父様

ご高名な方に
来ていただき…

町を代表して
お礼を申し
上げます

お待ちして
おりました

おそれ
いります

私はこの町の
地主で
モンテイーノ

そして
これが娘の…

フロレンス
と申します

神世界

どうぞ…
よろしく

あ♡

このような
美しい方に
出会えて

光栄です

こちらは私を
何かと助けて
いただいている
シスター・ジル
です

はじめまして
私は
カーバメント

今夜皆様の
赴任を祝って
うたげを用意
したのですが

いかがで
しょうか？

お気遣い
感謝します

ならば早く
荷ほどきを
すませて

その前に…
ちよつと
お話が…

はなし!!

そん
なっ
フロ
レン
ス
が

し神父様っ
何とかっ

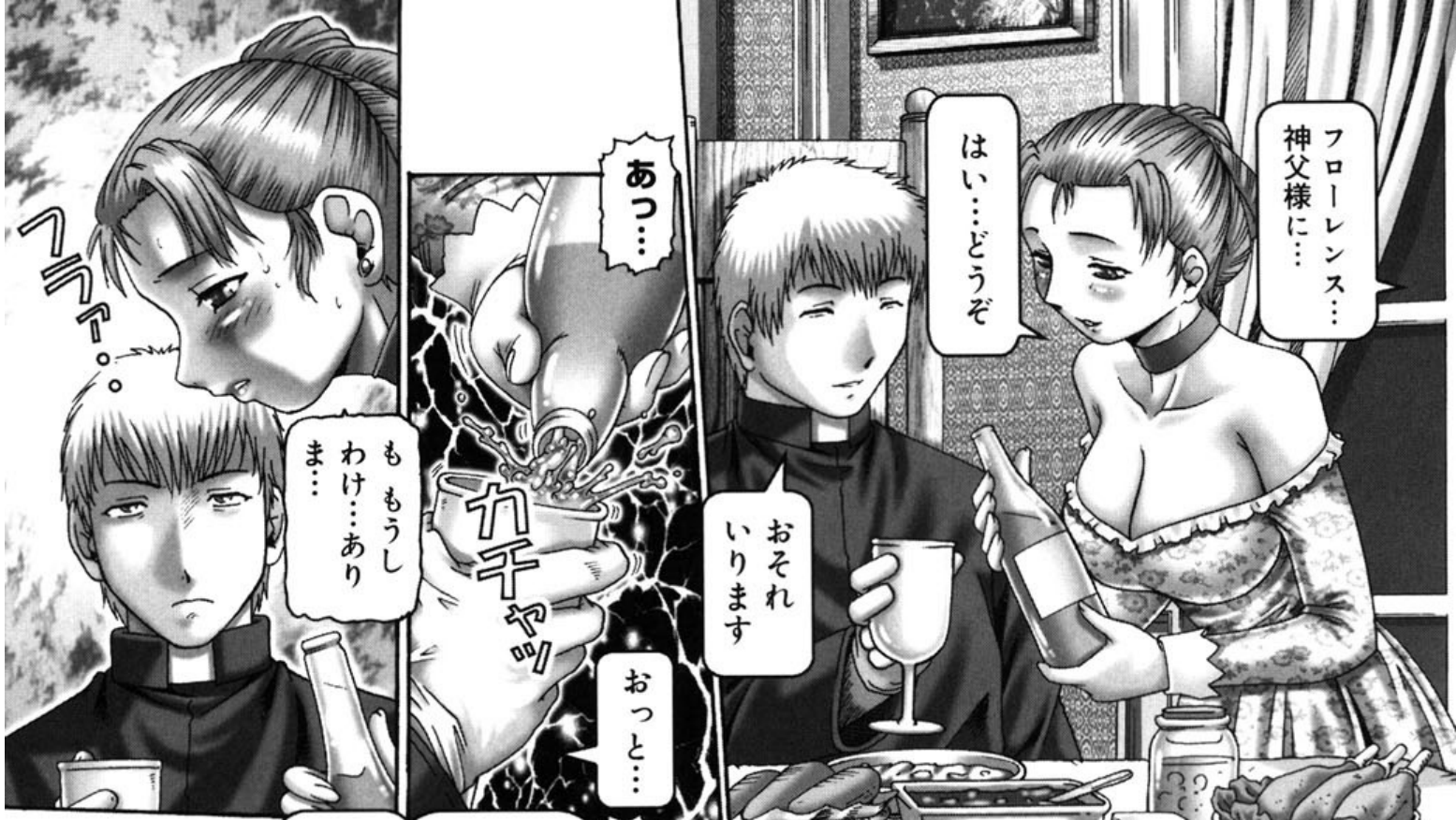
何とか娘を
お助け下さい

もちろ
んです

私どもに
お任せ
下さい…

神父様
ワインの
おかわりは

えっ
いただき
ます…



フローレンス：
神父様に…

はい…どうぞ

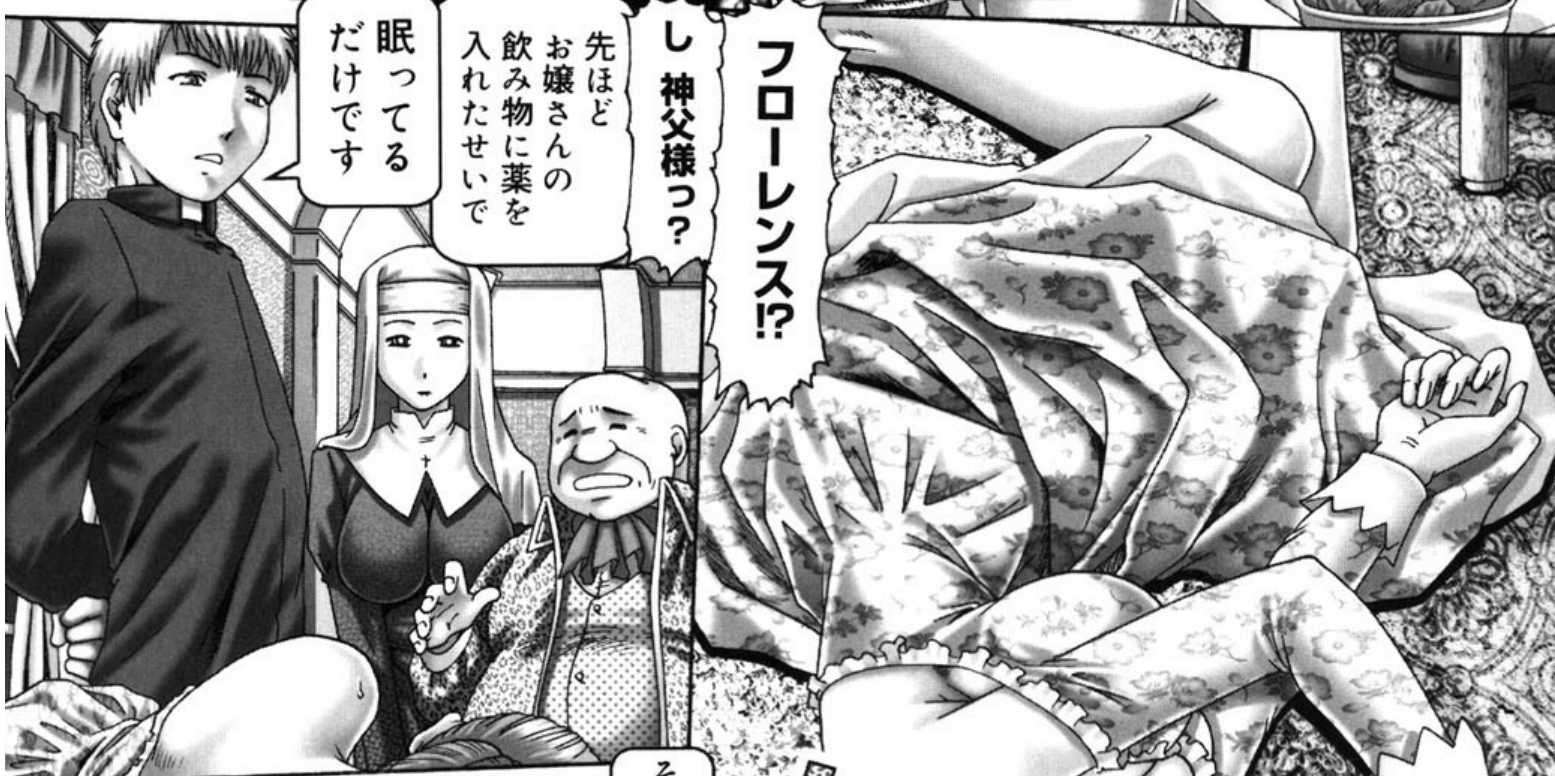
おそれ
いります

おっ…

カチヤッ

もうし
わけ…あり
ま…

フラッ?

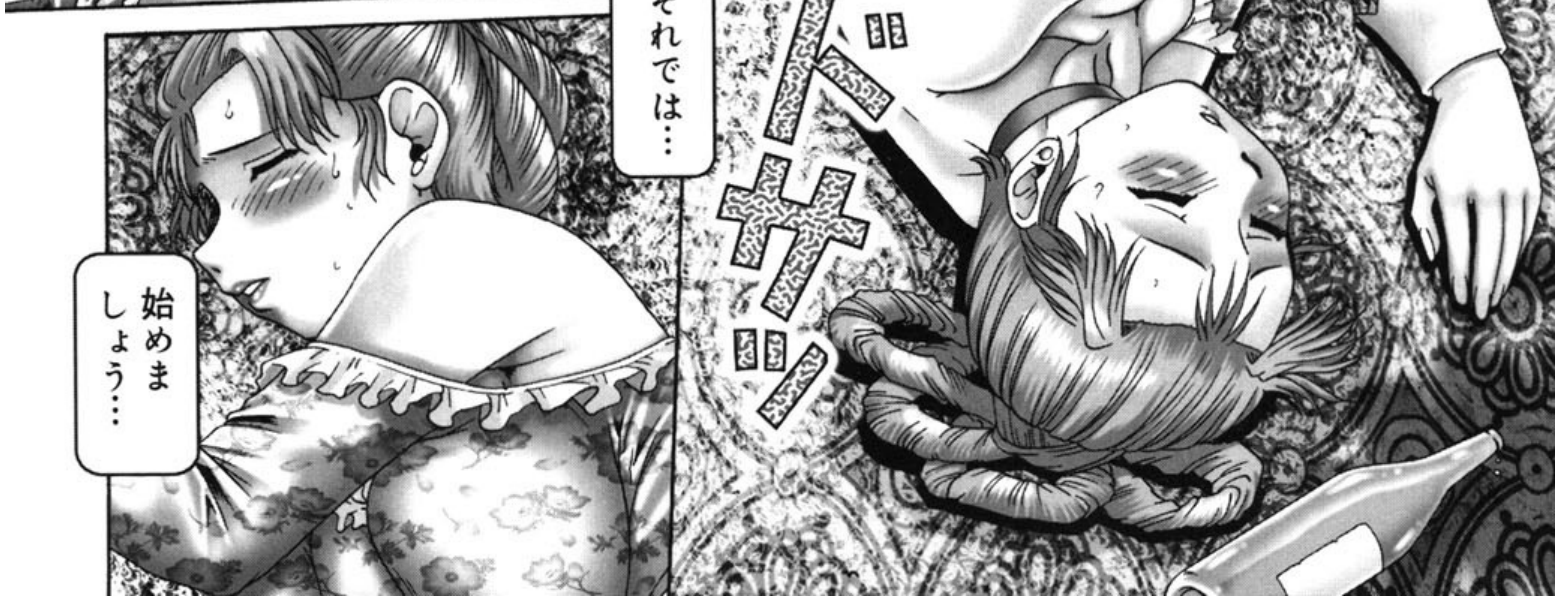


フローレンス!?

し神父様っ?

先ほど
お嬢さんの
飲み物に薬を
入れたせいで

眠って
るだけ
です



それでは…

始めま
しょう…

う...う...

ん...!?

はえ?

な何い!?

なんなの...
これえーっ

ギ
チ
イ
イ

し神父様に...
お父様っ...

ここは
いったい
何のまねです?



あ…
悪魔？

悪魔が
取り憑いて
おります

さほど
強い力は
持っており
ませんが
放っておくと

手の付けられ
なくなる怖れが
あります



お
おろしてえっ

ギ
ギ
ギ

これは
その…

正直に
言いましょう…
あなたには…

最近…今までとは
違った言動が多く
なってるはずです



あ…



やはり…
思ってた
通りだ

し神父様つ
娘を…
娘を…

お任せ
下さい…

娘さんを本来の
姿に戻して
さしあげます…





はあっ

はあ

はぎっ

はぶう

ああ...
あああ...

んがああ

ひぎぎっ

デブデブデブ

ささけるう
おなかさけ
ちやう〜

ももう
ややめっ

ゴボボボ。

デユウッ

ピクッ
ピクッ

体を清める
ための...
聖水ですから...

もう少し
辛抱して
下さい...

ははいら
な...

い〜

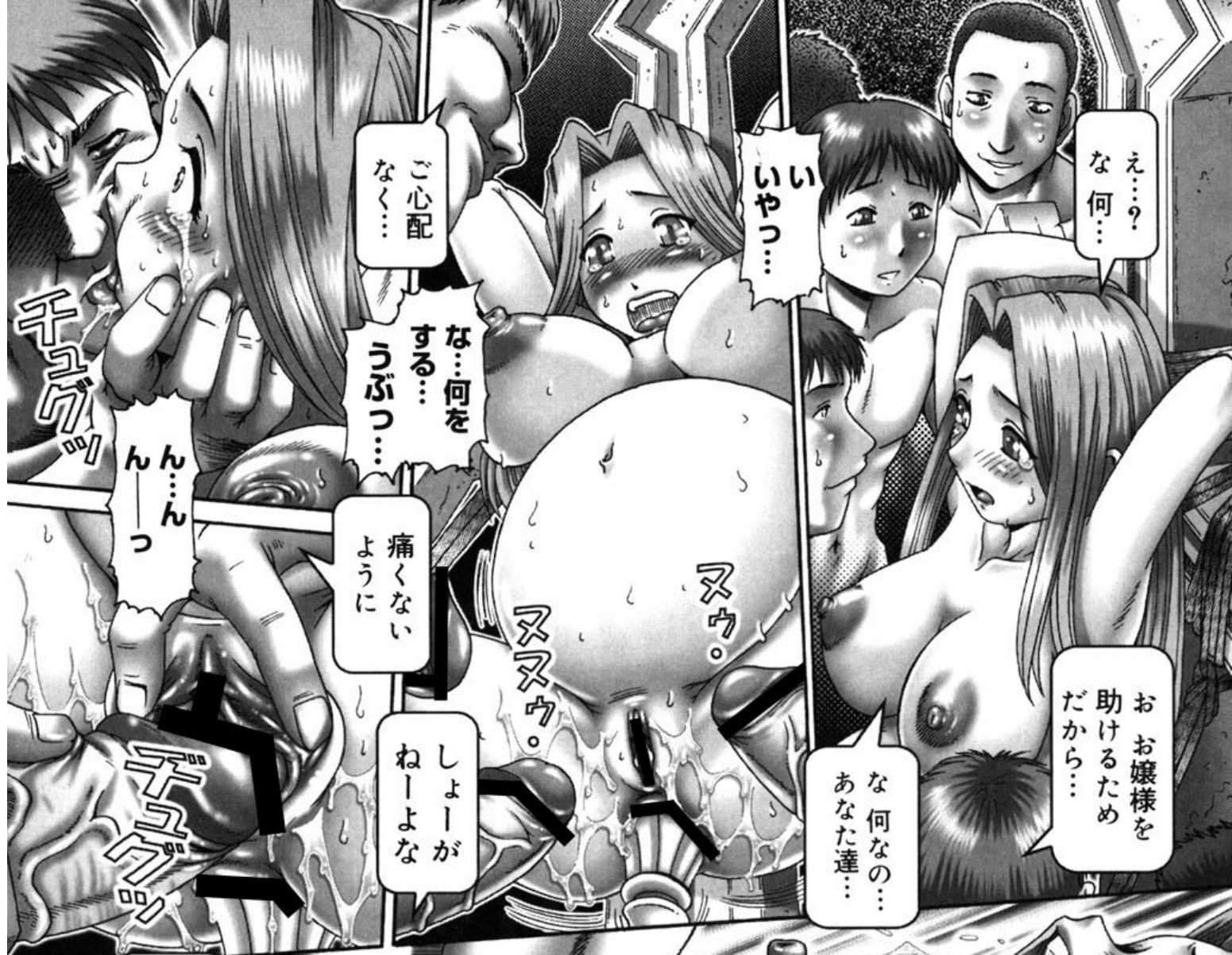
ギョフフウッ

ガク。
ガク。

ももう...

ガク。
ガク





ご心配
なく…

いやっ…

え…?
な何…

チュグッ

んんん
っ

な…何を
する…
うぶっ…

痛くない
ように

しょーが
ねーよな

ヌウ。

ヌヌウ。

な何なの…
あなた達…

お嬢様を
助けるため
だから…

します
から…



ひぎやめっ

ビュグウウッ



はがっ

あぐっ

あひっ

ゆ夢みてーだ…
オオレのチンポが
お嬢様の中に…



こ…こりやあ

ああ…

うぐっ…

いや…

だだめ

いやああっ

もう…
出ちま…

は…っ
サイコーッ

次はオレッ

そ…そんなに
いいのか…

ゴボボ。

レチャッ

ひ…ぐっ

じ…
じゃあーっ

オレが
先だ…

グーッ

何言ってる
オレの方が
先だっ

や...やめ...
やめて...

やあ...

やぶうつ

お前は
後だ

オレの方が
年は上だろ
だからオレ
からだ

うるせー
こんな時だけ
年長者ぶる
なっ

なんだ...
あっ...

うぶぶぶ...

ガク?
ガク。

ややべーっ
3人分入っ
ち
まった...
どうするっ

は
入っちゃった
物は仕方ねーっ

ギデデ

ここは3人
仲良く...
って事で

あ~~~~

おうつ

し 神父様...
ほ 本当にこれで
助かるのですか
?

ゴウッ

!



カク。
カク。

ああーっ
ももっど

もっど
ほじってえーっ

フロー
レンスッ

フロー
レンス

フフロー
レンス

おお父
さまあ

えーっ

ももうオレ達は
おしまいかい？
神父様…

もっどチンポで
ほじってえーっ

はい…

シスター
頼みます

体を清めたら
お帰りになって
けっこうです

どーぞ…
こちらへ

モビュッ

モビュッ

モビュッ

モビュッ

フジュッ

フジュッ

フジュッ

ズフッ
グジュッ



おーっ
そこそこ…
いいーっ

チュウッ

チュウッ

これが
お清めかい
？

ななあーっ
シスターー！？



はい…

いつも神の食物を
口にしていますここが
一番神聖な所…

それで皆様の魔に
触れた所をお清めして
さしあげるのです

へえっ



神の食い物を
食ってる所が
一番神聖なら

二番目は…

出る所
だよなあ

オレはこっちで
清めてもらおう
かな…

な何を
なさいます

！

カボツ

何って…

いいやあつ
おやめ
下さいまし

おやつ
すんなり
入ったぜ

お清め
だよ

シスターって
処女じゃないと
いけないんだろ？

相手は誰だ
神父か？

なあ—
どうなん…

それとも
神様と
やってたり
してなあ

何わけの
わかんねー事
言ってるんだよ

だあ…
くうーっ

おいおい
もうかよっ
だらしねー
なあーっ

せ精液が
止まんねーし…
チンポも抜け
ねえーんだよ

うるせー
これから…

あ…あれ？

と止まん
ねーっ

ああ!?

どどうなって
んだっ

お…ががあ
…あ…が…

ジュウッ
ジュウッ
ジュウッ

う…
うわあッ

うふっ…
今回はごちそうが
こんなにいっぱい…

全部
食べられる
かしら…

おおいつ
やべーよう

は早く
開けるよ

ムギイ

ひひ
ひーッ

ガチャ
ガチャ

あ開かねー
んだよ

はふうん

いいーッ
いいわ
お父様

もっと
入れて

カクン
カクン
カクン

ボギョッ
ボギョッ
ボギョッ

お父様の
熱い物を
いっぱい
そそいでえーッ

もっと
もっと
してえー

フ…
フローレンス…

わわしは
もう…

だめ…だっ
やめて…
く…



おまんこに
ひゅーつて
ねーっ

いいやあつ
やめないで

もつと出して
出してよあーっ

ねーったらっ

出してっ出して
お父さまあ

フ...ロ...

フ...
ローレ...

か...はあ...

神父さまっ

あなたでも
いいわっ

よろしい...
ならば...

やばあーっ
何それっ

チンポっ
チンポを入れて
ちようだいっ

私達と共に
神の声を
広めるため
ご奉仕なさい
ますか?

そんなに
欲しいなら...

うん
うんっ

さる
さるー

コク
コク

それいいっ
は早く
つつこんでえ
ーっ

クパ

ヌウ

テロロ

グッ
グッ



おなか…さけ
るうゝゝ

もう 普通の
生活には戻る
事は出来ませ
んが…



永遠に終わる
事のない…

おなかの中
ぐちゃぐちゃに
なつて…
ササイコーッ

これからは今までに
見た事のない世界を
楽しむ事が出来ます
よ…

なにこれえゝ
ぎもちいいゝゝ

これいく
ういくゝ

ゴゴッ…

ゴゴッ…

ゴゴッ…

ひびひびひび

ボキボキボキ

我々の神の
世界…

ああっ

ズツツ

ズツツ

かはあ

サタン様の
慈愛に
満ちた…

はひっ

すばらしい
世界を…

んひ…

あはあ



これは
これは

おや？

お連れの方は
お一人と聞いて
いましたが…

そちらの方
は？

ああーっ

この度…
私達と共に
布教のお手伝いを
してもらいます…

よーこそ
おいで下さった

フローレンスと
申します…

皆様を
神の世界へと

カーバメント
神父…

町の者を
代表して
歓迎いたします

おそれ
いります

ご案内
いたします

ニイ！

End

居場所前編

自分にあつた
居場所が
有るそうです

幼い時に
孤児となつた
私は…

孤児院が
私の居場所
なんだと思つて
いました…

んぐっ

ぶうっ

ギョギョ

チュフッ

ぶはあっ

ここに…
くるまでは…

自分でのぞんだ
所ではないけど…
ここも私にあつた
…

ぶぶっ…

んぶっ

ぶがあっ

んぐんぐん

ギョギョ

ギョギョ

ギョギョ

いいぞおっ
今日のまんこは
一段と…

でも…

んぐんぐん

んぐんぐん

居場所なんだと
思つ様になつて
きました…

んぐんぐん

フズン

んあっ

デブグッ

フズン

デブグッ

おっ
出るぞ
出るぞー

グログッ

グログッ

グログッ

んぐんぐん

彼女は…

ったく…

物覚えの
わるい奴だ

おそらく…
今まで居た場所が
自分の居場所だと思
っていたにちがひ
ありません

何度言っても
分らない奴
には…

私の…
姉は…

でも…彼女は
ここにいる他ない
のです…
心から嫌ってる
私と一緒に…

おしおきた

んがぁ〜

ここが自分に
とつての居場所
だと思ってるの
かは分かりません

妹の方が
優秀だな…

行き先を
失った今でも

ほらっ
しっかり
しゃぶれよっ

私達が
いつまでここに
居るのか…

ふふっ

いや〜っ
良かったよ…

んふっ

アロオッ

さーて…
次はどなた
かな？

ハッキリとは
分かりません

ポチュ

でも…私には
分かります

それでは
次は私が…

ふふ
ふふっ

そーらっ 大好物の
ちんぽだぞっ

ふふっ

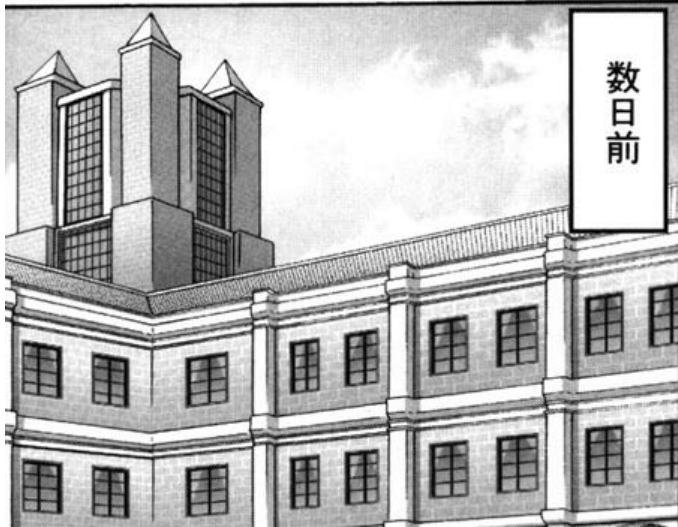
ムハハ

ズゴボオオッ

ここが私達
姉妹の本当の
居場所なのだと
おそらく…

永遠に…

数日前



おはよー
ございます ミランダ様

おはよーっ

ミランダさんっ

この前いただいた
楽器のおかげで
コンクールで良い
成績を残しましたわ

ありがとうございます
ございます

おはよー
ございます

いいえ…

大した事では
ございません
それよりも
お役に立てて
光栄ですわ

あら？

妹さんどうか
しましたの？
顔色がすぐれ
ないようですけど

！

ピク？

今朝から具合が
悪かったから…
休みなさいと
言ってたのに

え!?
いいいえ

医務室で
みてもらい
ましょう…
レイラさん

そっ

いいいえ…
大丈夫です

ごめんなさい
皆さん…

私…
妹につきそい
ますので…

えええ

わかりま
したわ

授業には少し
遅れると伝えて
おいて下さい

ありがとう
ございます

さあまいり
ましょう

妹さん想い
なのね…あんな
に心配なさって

お姉さんにあそこ
まで心配されてる
妹さんも

おお姉さま…
もう…私…

ががまん
出来ません…

とても
幸せね

あら!?

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

ザッ



なぜ!?

なぜいつも
こんな
ひどい事ばかり
するんですか?

いつもの所に
着いたら...

おしえて
あげても
いいわよ

さ——っ
なんででしょう
ねえ~~~~っ

モーリス：
いる？

ギィィィン。。

あっ
これは
お嬢様方

何ー？ あんた達
また昼間から
お酒飲んでるの

庭師の仕事には
支障がない程度
だけですよ

へへへ：
少しだけ
っすよ

そーそー
ちゃんと仕事は
やってますからね

まあ私は
どうでもいい
けど...

それより：
いつもの物は？

ちゃんと
用意して
ますよ

今回は上物
ですから

へ——っ
すごいじゃない...

よく手に
入ったわね

いや——っ
苦労しました
よ...





うへーっ今日は
一段と勢い良く
出ましたなあーっ

いつもより多く
入れたのよねえっ
レイラさん

今の見てたら
もう…こんなに…

あ…あ
い…いや…

オレも…

う…う…

さあくて

今日もその
かわいいお口で
…っ

ぶぐおっ

それじゃー
オレは…
こっちで…

むじおっ

ビキッ



ほほーっ…
いつもいい
具合だ…

毎日チンポで
ほじってる穴とは
思えませんかあー

グボッ
グボッ
グボッ

グボッ

しかし…

学園一の資産
家のお嬢様が
毎日ケツを
ほじられて
いるなんて…

ググッ
ググッ
ググッ
ググッ

他の人が知ったら
どう思うでしょう
ねー

とくに…

お父様なんか…

あいつは本当の
妹じゃないわ

お父さまが数年前に
どこかの孤児院から
養女としてつれて
きたのよ

おや？ レイラ様
何を泣いてるん
ですか？

楽しんでるん
ですから…

う…うう…
明るくいき
ましょうよ

シボッ

ミランダ様も
恐ろしい人だ

妹君をこんな
事に利用
するなんて…

妹!?

養女？
それは初耳
ですな…

フヂュッ
フヂュッ
フヂュッ

フヂュッ

フヂュッ

お父様は
やさしい人
だから...

私が早くに母を
失ってさみしい
思いをしてると...

そう思って
姉妹のかわりに
つれてきたのよ

それなのにあいつは
昔からの娘だった
みたいにな...

やさしいお父様の
気持ちを利用
して...

私とお父様の
間に入ってこよう
としてののよ

自分の身分も
わきまえず
に...

お前なん
かに...

ん!?

大切なお父様を
とられて
たまるもんですかっ

んぐうっ

おうお...っ
で出るっ
出るぞお

あっ...あっ
あがあ...

今のお前には
ここがお似合いの
場所よっ



は…
はう…ん

へへ…
オレはレイラ様
にお願いがある
んですけ…

!?



さすがはレイラ様だ
よい穴を持つてらっ
しやる

オイッ次
いいぞ

ギョッ

今日こそは
こっちでやらせて
ほしいんですけど
だめですか？

だだめっ
だめですっ…



お尻なら何でも
我慢しますけど

別にいい
じゃない

え？
なんだ
そうなの

そそっちの
方は…

初めてじゃない
んだからっ

なら入れちゃって
もいいよね

毎晩みだらな
事をしてたの

子供でも孕んで
後々は正妻の座
も狙ってたんで
しょ

この売女がつ

ち
ちがう…
そんなじや

そういう
事なら：

や
や
め……

やびつ…

遠慮なんて
いらねーなつと

へ——つ
親娘で
毎晩ねー

金持ちのやる
事はオレら庶民
には理解出来
ねーなあ

おあ~~~~
いりやすげー

あががあ…

ケツの穴なんか
よりよっぽど
いいぜ



あ…ひっ

ああ〜？
何言ってんだ
今やった
ばかりだろ

ぽんっ

おいっ
ちよつと
かわれよ

オレは回復が
早いんだよ…

…ったく

グッ
グッ



そんなに
入りたいなら…

このまま
だけど…
いいか？

お前のチンポと
こすれあうのは

クッ
クッ

やや…っうそお
そんな二本は…

なら…
やめれば



うるせーなあ

チュク
チュク

いやっいやっ
いやあ〜っ



おほおこっ
すげーっ
しめつけだ

よっと
入った…

ぬっ…
がああっ

おおっほんとだ
こりやいい…

こんないい物
持ってたのに…

今まで
おあずけ
だったなんて
な—っ



どう？

あんたの大好きな
チンポが二本も
入っちゃってるん
だけど…

あ…!?

いやらしいあんたは
こんなんじや
満足しないでしょ



だから…
これはおまけ…

すごい…
肉壁ごしに
子宮の様子
がわかるわ

チンポを二本も
くわえこんでる

むんっ
ぎいゝゝゝ



いやらしい
子宮がね

へべえゝゝゝ



あらゝっ
もしかして
いっちゃった？

こんな事で
いくなんて
あんたやっぱり
変態だわ

こんな事して
後でどうなるかっ

わかってるん
でしょうね

それより
あんたはやら
ないの…

妹じゃ
ないって
言ってる
でしょ

かわいそー
に…

妹なのに
よくここまで
やれますな

ああー
汚あ…

な何するの
よっ

スーッ

もちろん
やりますよ

でも相手は
レイラ様では
ないですけどね

な何よ
それ

きや—っ

ガタアッ
ゴトッ

ビロイッ

私のお父様は
この国で有名な
ホテル王よ

もし私に
何かあったら

あんたら
全員

ずいぶん強気
ですなあ
しかし…

学園関係者だけ
でなくこの国の
高官達とも
親しくしているわっ

それも
お父様が
居たらの
話でしょ

この国に住めない
様にしてやるっ

な何よっ

どういう
事?

お父様が
亡くなられた
事を

おや?

ご存知ないの
ですか?

!

居場所後編

まったく：
おいしい人を
なくされま
した：

我が校だけでなく
他の教育施設にも
多額の寄付をなさ
ってこられた：

若者の健全な
育成の為に：

まさに聖人の様な
立派な方でした

ですが：
立派だから
と言って

全ての人から
好かれるとは

ああっ

あひっ

かひっ

ひっ

んあゝっ

オボオツ

んぐっ

んぐっ…ん…
んん…ん…

ミス…
ミランダ

デュポ…

オボオツ

オボオツ

うぐっ

おほっ

かぎりません
よ…

グニッ

ゴボボ。

お父上を嫌って
いた者は多い…
私もその
一人ですが

それは
私だけでは
なく…

あちらにおいでの
理事会の方々にも

あの方は何事も
自分の思い通りに
いかないと気が
すまないのでしょう

お父上には
独自の教育理念が
ありで…それを
私や回りの者にも
押しつけようと
しておられた

いつかあの傲慢な
鼻先をへし折って
やろうと思っ
ていた矢先…

父上には
我々理事会も
ずいぶんいやな
思いをさせら
れました

急に他界なされた…
まったくもって
残念ですよ

ビュッ

サッ

フギョッ

んぐっ

おほっ

うっ

デユグッ

デユグッ

デユグッ

エ

あくっ…

クイッ





そして...
こんな
事まで...

いやっいやっ
やめて...

おねがい...

や...やあー
だめーっ

それ...だけは
ゆるし...

てえへえ~~~~っ

ボ
ズ

チンチン
ズン

ウーッ

じゅんじゅん



ギキキ。

んひいーっ

実に…
すばらしい

ひぎぎ

フム…やはり
この年頃の娘は
いつ入れても
いいものだ…



何も事業に
失敗して破産
されたからと言って
自殺などしなく
ても…ねえ

こんなすばらしい
娘さん達を残して
天国にめされた
父上は さぞ
残念でしょうな…

いいたあ…
いたい…いたい

まーこれも

ややめ…

いやめ~~~~っ

運命という
事でしょう

いやめ~~~~っ

我が校において
おくわけには
いきなないの
ですが…

そう言う事で…
文無しになり
学費を払えなく
なったお二人を

あぎ…

い…いや

ややめっ

いつ

あ…ぐっ

お父上の我が校への
長年の貢献に
免じて…

学生として
ではなく

私達の
肉人形と
してね

かひい〜っ

ああ…

おぶっ

げほっ

残校を許そう
じゃありませんか

ただし…

ブーッ

ブーッ

ギョッ

ブーッ

ギョッ

ギョッ

ンボッ

ンボッ

ンボッ

ビクッ

ビクッ

ボギョッ

ボギョッ

ボギョッ

ボギョッ

ググッ

ググッ

ググッ



た助かったわ…

ね…
聞いて…

あの人達
ひどいのよ

お父様が亡く
なられたって
うそを言っ
て私にひどい
事をするのよ

あんなやつら
おじ様の力で
懲らしめ…

まったく

君らには私から
先に手を付ける
と言ったはず
だぞ

も申し分け
ございません
ベッティオ様

つつい夢中
になりまして…

私がこの日を
どんなに楽しみに
していたか
分かっていたはずだ

それを君らは
私から奪って
しまった

そそれは…

その…も
う一つ…

どう責任を
取るつもりか
ねっ

そう…
もう一つの穴は
まだ新品ですから

こちらの方は
いかがでしょう

お…おじ…様

な何を…
おっしゃって
いるの…?

きやつ
な何?





それでは…
お言葉に
甘えまして

うぐむ
さすがに
きついです
な…

グキイ。

よしっ
入った…

ボヂュウ

いぎ…いやっ…
いやっいいやあ…

い…いや…
そそん…

いつべんには
入ら…な…

ヌウツ

ほほーっ
これはこれは

あが…が

カタ

カタ

あぎぎ…

あが…

がひっ

ひぎっ

小さな穴なのに
大人の物を二本
も受け入れる
とは…

んが…

デユグッ

デユグッ

デユグッ

デユグッ

体は小さくても
十分女としての
機能をしている



血縁関係
にはない…

それは戸籍上
だけの事

お前と私は
叔父と姪の
関係にあるが

確かに…

そうか…知らな
いだったな…

ん？

な…なぜ…
こんな事を

肉親なの…
に…

！
どどうい
う事…ですの？



兄は元々子供を
つくれない体
だった人だが

身よりのない
子供を引き取って
自分の子として
育てる事にした…

それが…お前
ミランダだ

だから
私とお前ら
二人は…

赤の他人と
いう事にな
る…

どうしても
子供がほしく
なった

そこで

う…
うそ…
そそんな





お前を
引き取ってからは
実の子の様に
溺愛していた…

あが

だが…
その兄も
もういない

お前は本来
あるべき状況に
もどったんだ…
孤独という
状況に…

ひぐ

あが

あ

グビュッ

グビュッ

グビュッ

グビュッ

グビュッ

グビュッ

だれもが本当の
親娘ではないかと
錯覚するくらい…

たとえ血は
つながって
いなくても…

私達は…
姉妹です

はあ

はあ

はあ

はあ

わ私が
います…









いいですねー
それでいき
ましよう…

こんな物しか
ありませんが…

どうです
かな？

え？



大丈夫…

ずいぶん
使いこんで
いるから

いやあっ

だだめっ
そんなの…
入らないっ

ちちよっと…
まっつて
まっつてえーっ

二本いっしょに
いって
みますか…

いいぎ…いだ
いだだ…

ささける
ささるっっ

おげええっ



ほほーっ

本当に
入ったぞ



あっ
こいっう

もらし
やがった

ガクッ
ガクッ

げべえ

ほげえ

はは...
こりや大変だ

ズ
ビュ
ビュ
ウッ
ウッ



まったく
こんな所で
もらすとは

しつけがなって
いないな...
親の顔が見て
みたいよ

妹の不始末は
姉の君にも
責任がある
からね

責任を
とってもら
おうかな...

はあ!?

ズ
ズ

えっ...ち
ちょっと

なに?

ううそ!!
やだっ

いいや
やめ...

カ
チヤ

いや~~~~



おやおや..
入りがあさい
ようですな

ならば..
少し手助けを
してさしあげ
ましょう..

いいや
やめ..

おおねがい
ややめ...やめ...

や...め... うぎや—っ

ギョッ

おーおー

びる
びる
びる
びる
びる



それでは…
今後とも
よしなに…

わかって
いるよ

君らの希望に
そう様に
努力しよう
じゃないか…

ありがとうございます
ございます

ところで…
あの二人は
いかがいたし
ましよう？

そちらで自由に
使ってくれたまえ

どうせ
あの二人に
は…

あーっ



ここにしか…

居場所が
ないからねー

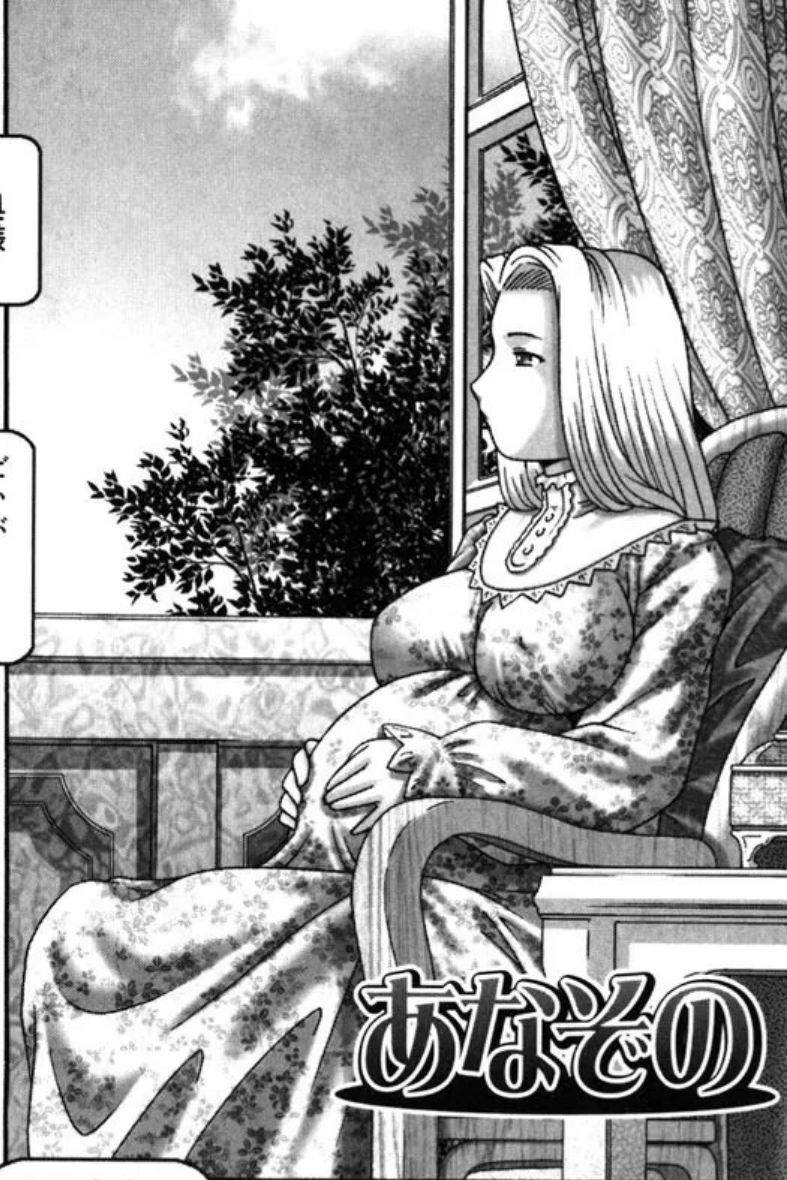
End



!

奥様

こちらに
おいででした
か…



あなぞの



だいが
寒くなって
まいりました…

あまり長く
外気に
あたられますと
お腹の赤ちゃんに
さわりますよ

ごめん
なさい…



いいえ…

あの人には
帰ってきた時
びっくりさせたい
から…

ご出発の前に
奥様が
身ごもっている事が
お分かりだったら
よろしかったのに…

お手紙を出して
お知らせに
なられたら
いかがですか？



そ…
そうね

まあーたっ
きさまかあ

元氣な赤ちゃんを
ご出産なさらないと

なら…その為にも
お体をいたわり



遠くを見ていたら
主人の事を
思い出してしまつて…
つい長居を…

旦那様が
出兵されて
もう…8ヶ月





ギンズ

ギンズ

ギンズ

ギンズ

ギンズ

あわっ

ひびく

うわっ

あわっ

うわっ

あわっ

はっ

あわっ



うわっ

も...もっ
う...うめ...

う...う...
う...う...

ギンズ

ギンズ

ギンズ

ギンズ

ギンズ

う...

う...

う...

はがみ

ゴッゴッ
ゴッゴッ
ゴッゴッ



ああ…

一通りみんな
終わったか

それに
しても…

ずいぶん
デカく
なったな

出した
出した…

もう
出ねーよ

双子でも
入ってんじや
ねーか？

ぼぼく…
いいよ

えっ

おいっ
アギム

おい
次やりたい
やつ…

でも…生まれてくる
赤ちゃんのハダが
黒かったら
だんな様びっくり
するだろうな…

おまえまだ
やった事
なかったろ

遠慮
すんなって

せっかく
奥様が
やらせて
くれるって
言っただ
からさ…



オレらがやるの
見てたから
やり方は
わかるよな

いいから
脱げよ

なんだあ!?
やる気満々
じゃねーか

あつ
だめだよ

ほーらここに
チンポ入れてみる



だが奥様の
ガバガバの穴じゃ
そう長くは
気色よさが
つづかねーからな

どうだ?
気色いい
だろ...

おう
そーだ

ここう?



いいいよ...
チンポが
吸い取られそうで...
すこいよ

う...うん

もつと

ふ...くっ

よくして
やるからな





ガウ

お...お...

お...お...

お...お...

ガウ

ガウ

うげげ...

ひきッ

ギョッ

おもしれー
ならおれも

はあッ
えがったあ

おあッ
こりやいい

普通に
やるより
出がいいや

グ
デッ

ぐッ

おほほーッ

えげげ...

デョオオオオオ!

本当だ
よく出るぜ

チュウッ

じゃー
おれも

おれも

シヨホホオーッ

おれにも
やらせろ

おれも
おれも

グッ



ビクッ!

ぴゅっ

ぴゅっ

ジヨボボ。

ふいっ

ありやっ

これはもう
人間のハラ
じゃねーな

じゃー抜いて
楽にして
やらねーとな

ほえーっ
すつきり
したあー

ぶる
ぶる

ぶる
ぶる

ここにいる
全員分の
しょんべんが
たまってる
からな

これだと
赤ん坊
つぶれたんじや
ねーか?

やあっ
ままって

やだあ...
いやあ...
いつ

いや...
いやいや

うんち
出したく
ない

いやー
こんな所で
出したくない

い今
抜いたら

ここじゃ
抜かないでえ

だだめえ
~~~~

やああっ

おねがい  
やめて

ぐびぶう〜っ

End



# あとがき

この度は、自分の単行本を読んで頂き、誠に有難う御座います。

コア・マガジン様でお世話になってから、早2年・・・  
こうして見捨てられる事無く、  
単行本の発行に漕ぎ着ける事が  
出来ましたのも、  
自分の様な奴を日々応援して  
下さった心温かい読者様と、  
何時も寛大な心でご支援下さった  
編集様の御蔭であります。

さて・・・今回の作品群は「高貴な女性を陵辱する」というコンセプトで描いたんですが、ボキャブラの少ない自分としては、殆ど定番的なネタしか思い浮かばず、いかにそのネタをインパクトのある話にするか、毎回苦労しました・・・でも、中での一番苦労したのは全項フルカラーの作品です。

普段のモノクロ原稿よりも作業時間が長く掛かり、少ない項数でも普段の原稿枚数に匹敵する時間を要した為、なんだかお腹いっぱいになった気分でした。

でも、カラーはモノクロの時よりも完成した時の達成感が違いますからまた、あの感覚を味わう為に描いてみようかと思っています。

(暫く時間を置いてから・・・)

これからも機会が与えられる間、  
ヌレヌレでエロエロな漫画を、  
皆様にお届け出来る様に日々  
精進して行きます。







初出：「コミックメガストアH」(弊社刊) Vol.1～Vol.6、Vol.8、  
03.9月号、03.11月号+描き下ろし

## MEGASTORE COMICS

★この度は、TYPE.90 作品集「妃蜜の穴園」  
をお買い上げ頂きありがとうございました。  
この作品を読まれたご感想・ご意見がありまし  
たら、次の住所までお送り下さい。

〒171-0033 東京都豊島区高田 3-29-3 3F  
(株) コアマガジン コミックメガストア編集部  
「妃蜜の穴園」係まで。

皆様のお便りを心よりお待ちしております。

★メガストアコミックスシリーズ No.21

### 妃蜜の穴園

2004年4月2日 初版第1刷発行  
2008年3月31日 第7刷発行

[著者] .....TYPE.90 ©TYPE.90 2004

[装丁] ..... 田崎理展

[発行人] ..... 中沢慎一

[編集人] ..... 島田 崇

[印刷・製版] ..... 三共グラフィック株式会社

[発行所]

〒171-8553 東京都豊島区高田 3-7-11

株式会社コアマガジン

電話 (03) 5950-5100

★無断複写・複製・転載を禁じます。乱丁・落丁  
本はお取り替えします。

この物語はフィクションです。日本の法律では、同意があっても  
13歳未満の者と性行為をすれば強姦罪に問われ、18歳未満の者  
と性行為をすれば都道府県の淫行処罰規定に該当します。